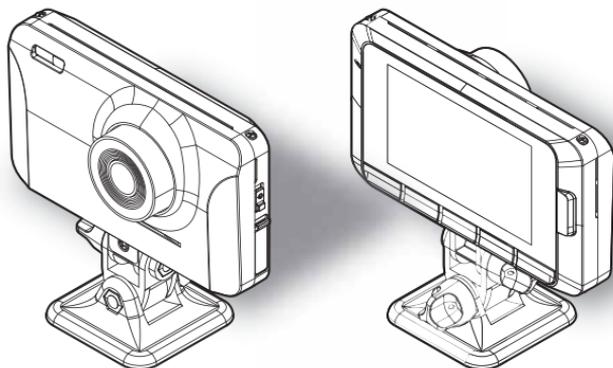


# ドライブレコーダー&レーダー探知機 CB-R01

取付説明書／取扱説明書／保証書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができる所に保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

## ⚠ 注意

本製品が動作した状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず本製品を停止した後、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。

## 👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

はじめに

取付け

基本操作

ドライブレコーダー機能について

レーダー探知機機能について

設定

その他

# 目次

目次	2
はじめに	3
安全上のご注意	3
ご使用上のお願ひ	6
知っておきたいこと	9
新しい microSDHC カードを 使用する場合について	11
microSDHC カードの 取り出し方について	11
梱包内容	12
本体各部名称	13
別売オプション	13

## 取付け

取付方法	16
取付手順を確認する	16
取付け上の注意	16
シガープラグコードを接続する	17
本体を取付ける	18
録画動作を確認する	21

## 基本操作

基本操作	24
電源を ON にする	24
電源を OFF にする	24
本体音量を調整する	25
待機画面の表示パターンを切替える	26
液晶画面表示	27
待機画面の表示内容を選ぶ	29
傾斜計 /G モニターの値を補正する	30

## ドライブレコーダー機能について

映像を撮る	32
映像の記録について	32
映像を見る	36
本体で映像を再生する	36
パソコンで映像を再生する	39
パソコンで録画データを保存する	44
地図表示について	46

## レーダー探知機機能について

警報方法	48
オービス警報 / ユーザーポイント警報	48
レーダー警報	51
GPS 警報	52
無線警報	53
レーダー探知機機能の便利な機能	54
ユーザーポイントを登録する	54
警報をキャンセルする	55
最新データに更新する	60
レーダーおまかせ設定	62
走行エリアを選ぶ (ロードセレクト機能)	64

## 設定

設定	66
設定方法	66
設定内容一覧	68
共通設定	73
[レーダー設定] 表示設定	77
[レーダー設定] 機能設定	78
[レーダー設定] GPS 設定	84
[レーダー設定] 無線設定	97
ドラレコ設定	104
SD カードの初期化 (内部データの消去)	109
工場出荷状態に戻す (オールリセット)	109
Ver 情報	109

## その他

付録	112
取締りの種類と方法	112
ディスプレイモード (販売店向け機能)	116
レーダースキャン画面の 表示アイコンについて	116
LED ランプ確認表	117
エラー確認表	117
よくあるご質問	118
記録時間の目安	120
製品仕様	121
さくいん	122
保証規定	123
CB-R01 保証書	裏面

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分して、説明しています。

 **危険** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

### 本書で使用している記号について

	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
	衛星を受信している場合に対応する内容を説明しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<b>長押し</b>	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

# はじめに

⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転や視界の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

 注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。



本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
- ・湿度が高い所やほこりの多い所。



microSDHC カードを本製品に差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。



本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。

- ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
- ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
- ・長期間使用しなかった場合。



microSD カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSD カードへのアクセス中に抜き差しを行うと、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。



一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

# はじめに

## ご使用上のお願い

### ドライブレコーダー機能について

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品はドライブレコーダー機能は車載用として設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

## レーダー探知機機能について

- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など)
- 本製品の GPS 警報は、あらかじめ登録されたオービスや取締ポイントなどの GPS データ (位置情報) とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機などの車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器 (下記) 周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。(自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部、車線変更支援システムの一部)
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、必ず実際の交通規制に従い走行してください。
- キーを抜いた状態、または車両電源が OFF の状態でもシガーソケットに通電している車両は、車両バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-01『直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

# はじめに

## 本製品について

- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償や付随的な損害に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
  - microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
  - microSDHC カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。(microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります)
  - 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合など、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
  - 一部断熱ガラス (金属コーティング・金属粉入りなど)、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波などの電波が受信できない場合があります。
  - 本製品にはお買い上げ日から 1 年間の保証がついています。(ただし、ステーシガープラグコードなどの付属品、microSDHC カードや両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません)
  - 補修用部品や修理後の性能保証等の事情から修理対応ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
  - 本製品は DC12V 車専用です。(DC24V 車へのお取付けはできません)
  - 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
  - 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
  - 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
  - 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を取付けでの違法行為 (スピード違反など) に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

## 知っておきたいこと

### ● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

### ● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

### ● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビなどで UHF56 チャンネルを受信 (設定) している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

### ● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

### ● GPS による速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

# はじめに

## ● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 65℃以上や約 -10℃以下になると正常に表示が行えません。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

## ● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度使用する場合で約 2～3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。  
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的に microSDHC カードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDHC カードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

## ● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム (FAT など) に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、SD カードをフォーマットする頻度を大幅に減らし、使用することができます。
- ・本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行っても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の設定メニューから SD カードの初期化を行ってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSDHC カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行ってください。

## 新しい microSDHC カードを使用する場合について

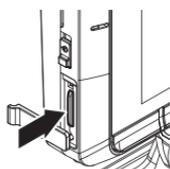
新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを本製品に挿入すると、microSDHC カードの初期化画面が表示されますので、初期化を行なってください。(⇒P109)

## microSDHC カードの取り出し方について

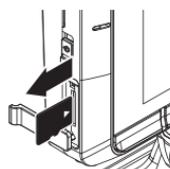
microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

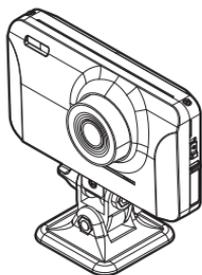
### ⚠ 注意

本製品が動作した状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。

# はじめに

## 梱包内容

CB-R01 本体



### 付属品

シガープラグコード  
(約 4m/1Aヒューズ内蔵)

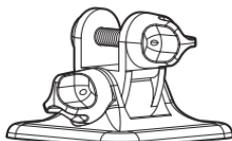


microSDHC カード  
(16GB/1 枚)



※microSDHCカードは出荷時  
本体にセットされています。

取付ステー (1 個)



※取付ステーは出荷時本体に  
セットされています。

両面テープ (1 枚)



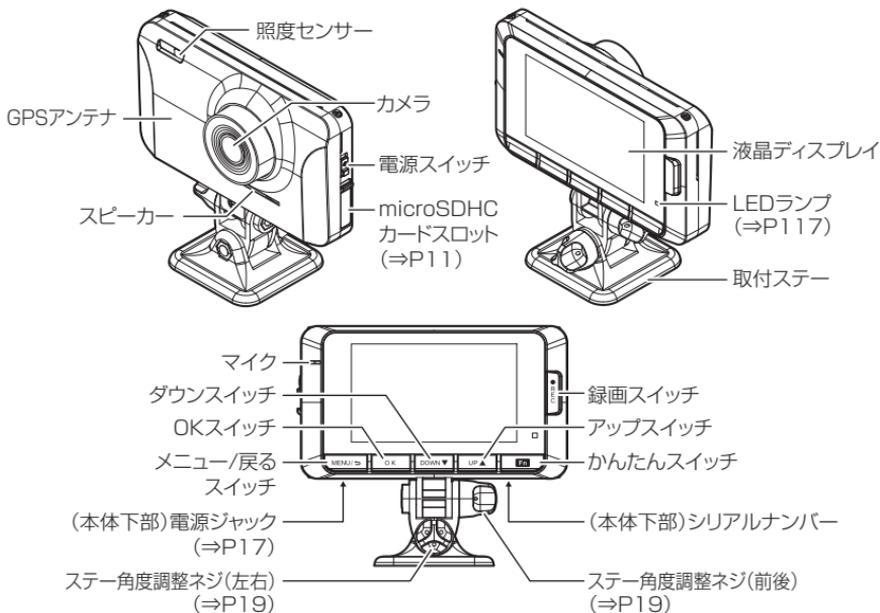
取扱説明書 (本書 / 1 冊)



### 👉 アドバイス

付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体の設定メニューから初期化 (⇒ P109) を行なってください。

## 本体各部名称



### ⚠ 注意

- ・ microSDHC カードは消耗品であり、約2～3年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- ・ 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

## 別売オプション

品名	使用目的	品番	
直接配線コード	本製品の電源を直接車両から取る際に使用します。	ZR-01	
microSDHC カード	メモリ容量：8GB / 16GB / 32GB メモリタイプ：MLC スピードクラス：class10	8GB	HDROP-08
		16GB	HDROP-16
		32GB	HDROP-32



# 取付け

<b>取付方法</b> .....	<b>16</b>
取付手順を確認する .....	16
取付け上の注意 .....	16
シガープラグコードを接続する .....	17
本体を取付ける .....	18
録画動作を確認する .....	21

# 取付方法

## 取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P17)

車両に本製品を取付ける (P18 ~ P19)

動作を確認する (P21 ~ P22)

本体の液晶で映像を確認する  
(P36 ~ P37)

パソコンで映像を確認する  
(P39 ~ P43)

終了

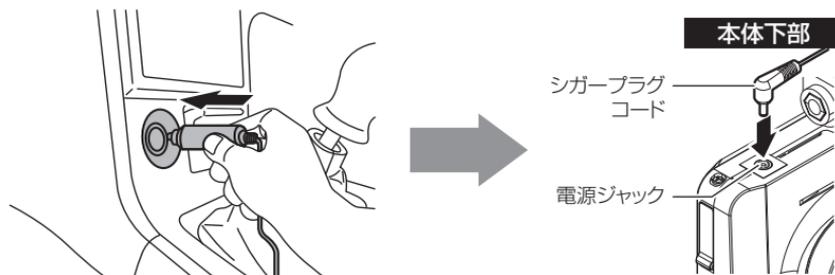
## 取付け上の注意

### ⚠ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは行わないでください。脱落などにより事故の原因となるおそれがあります。
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本体の取付位置により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず G センサー設定を見直してください。
- ・本体カメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

## シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを挿し込み、本体下部にある電源ジャックに電源プラグを挿し込んでください。



シガープラグコードを抜き差しする際は、プラグ部を持ち、まっすぐ抜き差ししてください。コード部を引っ張ったり、回したりすると断線のおそれがあります。

### 👉 アドバイス

キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-01 『直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

# 取付方法

## 本体を取付ける

- 車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。
- 本体を垂直、本体後部を車両の進行方向に向けて取付けてください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる

✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



- 液晶の特性上、本体を取付ける場所や角度によってはディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるように本体を取付けてください。

### ⚠ 警告

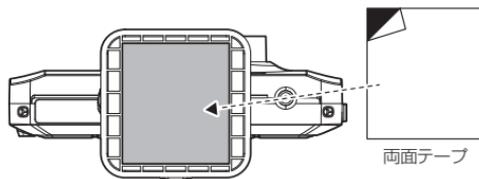
自動車の機能（エアバッグ等）や運転、視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

### ⚠ 注意

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

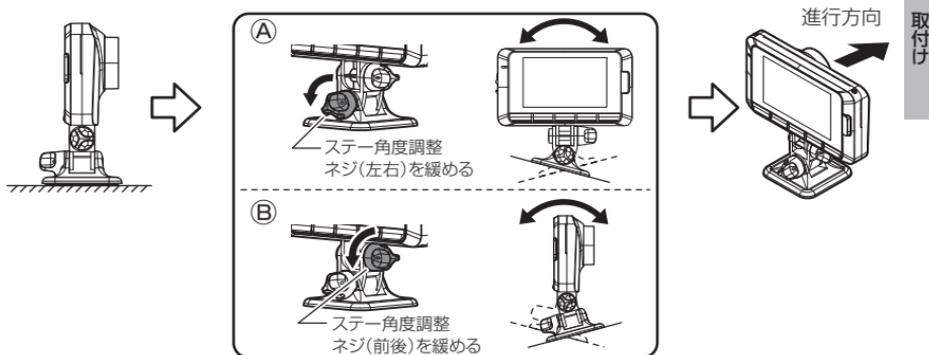
## 取付方法

1. 取付ステーに、両面テープを貼付けます。



## 2. 濡れたタオルなどでダッシュボードを拭き、きれいにしてから固定します。ステーの角度調整ネジを緩めた状態で、液晶の映像を確認しながら取付角度を調整してください。調整後にネジを締めます。

- ・本体が垂直になるよう①、②のように角度を調整し、本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します。
- ・取付ステーの高さを調節(⇒P20)する場合は、固定する前に行なってください。固定した後に行う場合、両面テープを外す必要があります。



### ⚠ 注意

- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に角度が変わってしまうおそれがあります。
- ・ステア角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

- ・電源がONの状態での角度調整を行うため、衝撃を検出したりスイッチを押してしまったりして映像を記録してしまうことがあります。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。

### 👉 アドバイス

- ・[液晶表示設定]で設定した時間を経過後、液晶表示が消えた場合、【メニュー/戻る】スイッチを短押しすることで設定した時間(OFFに設定した場合は30秒)液晶が再表示されます。(⇒P73)
- ・撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。

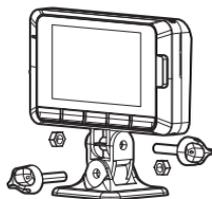
# 取付方法

## 👉 アドバイス

### 取付ステーの高さを調節する

本製品は取付ステーの部品を取り外すことで高さの調節を行うことができます。その場合左右方向の角度調節は行うことができなくなります。あらかじめご了承ください。

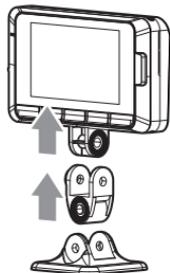
- 1) ステーの角度調整ネジをすべて取外します。
  - ・ネジやナットをなくさないようにご注意ください。



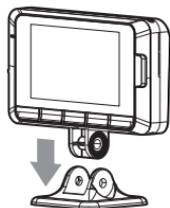
- 2) 本体とステーを取外し、その後ステーの部品を取外します。
  - ・可動方向に動かしながら力を加えると外しやすくなります。

#### ⚠ 注意

事故時の衝撃などで角度が変わってしまわないよう本体やステーは固く取り付けられています。取り外す際はケガ等しないよう十分にご注意ください。



- 3) ステーの台座部分と本体を取付けます。
  - ・ステーを回転させ、本体とステーの凹凸部が合うように取付けてください。



- 4) 角度調整ネジで固定して完了です。

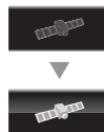


## 録画動作を確認する

## 1. GPS の受信を確認する

- 1) 車両キースイッチをおよび電源スイッチ ON にし、本体起動後、GPS アイコンが表示されることを確認してください。

※ GPS を受信することで本体の日時が設定されます。



## アドバイス

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による表示が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

## 2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【録画】スイッチを押してください。

※かんたんスイッチの設定を [録画] に設定している場合、かんたんスイッチでもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P106)



- 2) 『ピッ』と音が鳴り、液晶画面の『REC』表示が『REC M』に切り替わり、音声および録画データを記録します。

※マニュアル録画中は LED が緑点滅します。

※音声は自動で録音されます。



## アドバイス

録音設定の初期設定は [ON] になっています。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P105)

# 取付方法

---

## 3. 記録した映像を確認する

---

本体で記録した映像を確認してください。(⇒ P36,37)

### 《確認内容》

- ・『常時録画』内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、スイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること

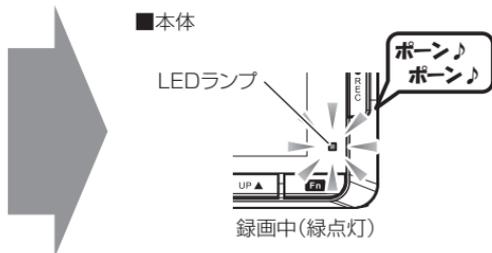
# 基本操作

<b>基本操作</b> .....	<b>24</b>
電源を ON にする .....	24
電源を OFF にする .....	24
本体音量を調整する .....	25
待機画面の表示パターンを切替える .....	26
液晶画面表示 .....	27
待機画面の表示内容を選ぶ .....	29
傾斜計 /G モニターの値を補正する .....	30

# 基本操作

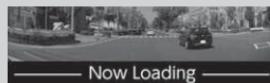
## 電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にし、電源スイッチを ON にしてください。



本製品の起動直後（液晶下部に [Now Loading] が表示されている間）はレーダー探知機機能は起動中となるため、警報等を行えません。また設定メニューへ入ることもできません。

※ [Now Loading] 表示中も録画は行なっています。



### アドバイス

#### microSD カードチェック機能

本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P117 を参照ください。



## 電源を OFF にする

車両キースイッチを OFF または電源スイッチを OFF にしてください。

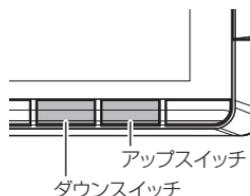


## 本体音量を調整する

- 本体の確認音やアナウンス音、警報音、記録映像再生時の音量などを [OFF/1 ~ 8] の9段階から選択することができます。
- 音量を OFF に設定していても、エラー時の効果音は鳴ります。
- お買い上げ時は【4】に設定されています。

### 調整方法

- 1) 【アップ】または【ダウン】を押して、  
[音量設定画面] を表示する



- 2) 【アップ】【ダウン】で音量を調整する



- 3) 一定時間操作を行わないと、調整した音量に  
設定され待機画面に戻ります。



### オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m以下）してから約10秒後、またはレーダー受信警報してから約15秒後に、警報音の音量を自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音の音量に戻ります。

# 基本操作

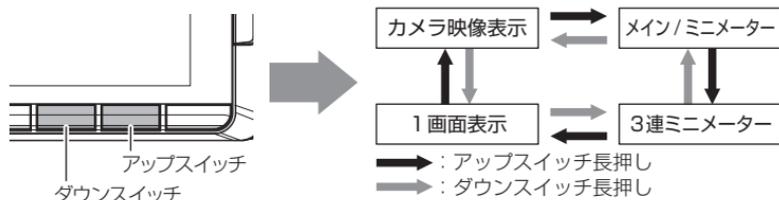
## 待機画面の表示パターンを切替える

待機画面の表示をカメラ映像表示およびレーダー探知機表示（メイン/ミニメーター表示／3連ミニメーター表示／1画面表示）の4種類から選択することができます。

## 待機画面の表示を切替える

待機画面中に【アップ】または【ダウン】スイッチを**長押し**すると、画面表示が切り替わります。

- ・レーダー探知機画面の表示項目を切替えたい場合は、待機画面の表示内容を選ぶ（⇒P29）を参照し、変更を行なってください。



## 表示画面一覧

カメラ映像表示	メイン/ミニメーター
3連ミニメーター	1画面表示

## 液晶画面表示

### カメラ映像表示画面



	アイコン	表示内容
①	REC  REC G  REC M	録画状態を表示 REC: 常時録画 / REC G: 衝撃録画 / REC M: マニュアル録画
②	FullHD  HD  SD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P104)
③	HI  LO	画質の設定 (Hi: 高画質 / Lo: 低画質) を表示 (⇒ P104)
④	HDR  WDR	画像補正機能の設定を表示 (⇒ P108)
⑤	ALL  EVENT	上書き禁止の設定を表示 (⇒ P105)
⑥	MIC  MIC	音声録音の設定を表示 (⇒ P105)
⑦		GPS の受信 / 未受信を表示
	G-sys	G システムの作動状態を表示 ※走行中に衛星未受信の場合のみ表示

### アドバイス

#### 自車位置検出の補完機能

本製品は走行中に衛星の受信ができなくなった場合、『G システム』によって自車位置の検出を行います。G システム作動時は衛星アイコン表示部に、右記アイコンが表示されます。

※ G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

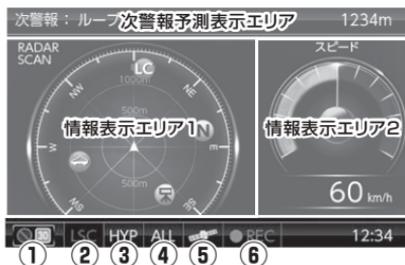
Gシステム  
作動時

G-sys

# 基本操作

## レーダー探知機表示画面

### ■ メイン/ミニメーター表示



### ■ 3連ミニメーター表示



### ■ 1画面表示



	アイコン	表示内容
①		駐車監視エリア内で表示
		ゾーン 30 内で表示
②		LSC 機能の作動状態を表示
③		レーダーの受信感度を表示
④		走行エリアの設定を表示
⑤		GPS の受信 / 未受信を表示
		G システムの作動状態を表示 ※走行中に衛星未受信の場合のみ表示
⑥		録画状態を表示 REC: 常時録画 / REC G: 衝撃録画 / REC M: マニュアル録画

## 🖱️ アドバイス

### 次警報予測表示エリアについて

自車の進行方向上にある GPS 警報対象と、直線距離を表示します。GPS 警報対象が無い場合は、カレンダーを表示します。また表示される GPS 警報対象はレーダースキャン画面に表示される内容 (⇒ P116) と同一です。

### 情報表示エリアについて

情報表示エリアの表示内容は、お好みに合わせて変更することができます。(⇒ P29)

## 待機画面の表示内容を選ぶ

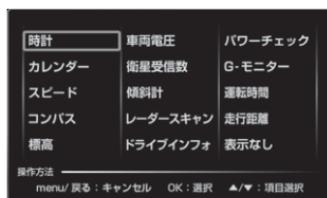
待機画面の情報表示エリアの内容を、表示 OFF を含め 15 種類の項目から選択できます。

### 表示項目選択画面を表示する

- ・レーダー探知機表示画面で【OK】を短押しすると、表示項目変更モードに入ります。
- ・【アップ】または【ダウン】で変更したい情報表示エリアを選択し、【OK】で決定することで、表示項目選択画面が表示されます。



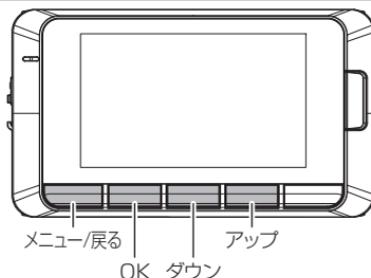
変更したい情報表示エリアを【アップ】または【ダウン】で選択し、【OK】を短押しする



表示項目選択画面が表示される

### 表示項目選択画面の操作

- ・表示したい項目を【アップ】または【ダウン】で選択し、【OK】を短押しすることで決定します。
- ・【メニュー/戻る】を短押しすると変更をキャンセルして待機画面に戻ります。



# 基本操作

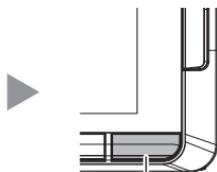
## 傾斜計 / G モニターの値を補正する

傾斜計および G モニターの値を、現在の状態を基準値として補正（キャリブレーション）します。

1. 待機画面表示を [傾斜計] または [G モニター] に設定した状態で、かんたんスイッチを**長押し**します。



待機画面表示を [傾斜計] または [G モニター] 表示にする



かんたんスイッチを **長押し**する

2. [傾斜計] および [G モニター] の値が補正（キャリブレーション）されます。



### 👉 アドバイス

[傾斜計] と [G モニター] の値は、どちらかの項目を表示し操作を行うことで、2 つとも同時に補正（キャリブレーション）されます。

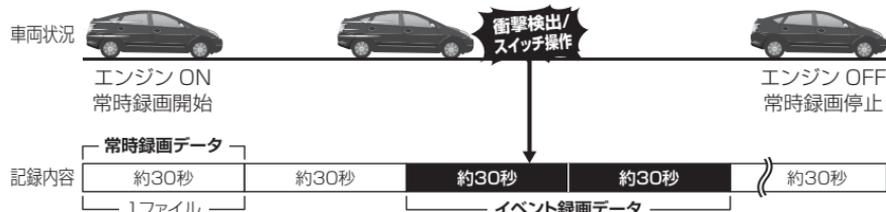
# ドライブレコーダー機能について

<b>映像を撮る</b> .....	<b>32</b>
映像の記録について .....	32
<b>映像を見る</b> .....	<b>36</b>
本体で映像を再生する .....	36
パソコンで映像を再生する .....	39
パソコンで録画データを保存する .....	44
地図表示について .....	46

# 映像を撮る

## 映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



※イベント（衝撃検出/スイッチ操作）が発生した時点のファイルおよび前または後のファイルの2ファイルを保存します。

**事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。  
その際は常時録画の映像をご確認ください。**

### 👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒P105)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、エラーを解除してください。

## 常時録画について

- ・エンジンを ON（車両キースイッチを ACC または ON）にした後からエンジンを OFF（車両キースイッチを OFF）にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

## イベント録画について

- ・イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、またスイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』の2種類があります。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・[上書き禁止]設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒P105)

イベント録画は1ファイルの前半10秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は前のファイル、後半20秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は後のファイルを『衝撃録画データ/マニュアル録画データ』として記録します。

### ■衝撃録画データ

- ・本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・Gセンサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ0.1G単位で感度調整することができます。(⇒P106)

前半10秒以内に衝撃を検出した場合



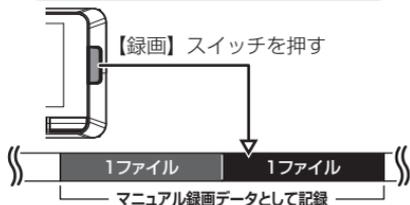
後半20秒以内に衝撃を検出した場合



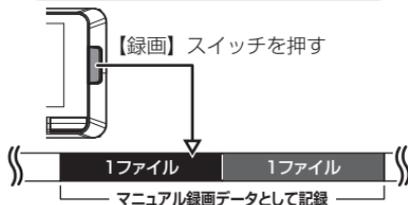
### ■マニュアル録画データ

本製品の【録画】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。  
※かんたんスイッチを【録画】に設定している場合はかんたんスイッチでも記録できます。

前半10秒以内にスイッチを操作した場合



後半20秒以内にスイッチを操作した場合



# 映像を撮る

## 録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P105）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。

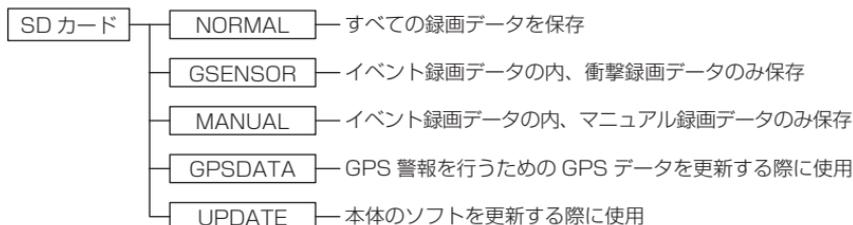


- ※ 録画領域を変更する場合、SD カードの初期化が必要となり、記録されたデータが全て消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

## 保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

### ●フォルダー構成



### ●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

録画を開始した 年 月 日 時 分 秒 ※

YYYY\_MM\_DD\_hh\_mm\_ss\_XXX.MOV

録画データ種類

※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2018/2/9 17:23:45 に常時録画を開始したフォルダー名とファイル名

NORMAL — 2018\_02\_09\_17\_23\_45\_Nor.MOV  
 2018\_02\_09\_17\_24\_15\_Nor.MOV  
 2018\_02\_09\_17\_24\_45\_Nor.MOV

⋮

### ■録画データ種類部の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ		

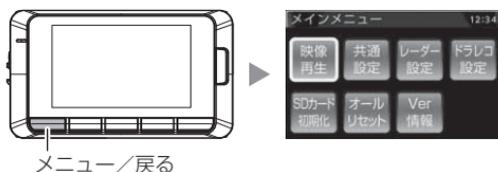
※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

表示	内容	表示	内容
Restore	復元されたデータ	c	高温または低温によるエラーで録画を終了したデータ
SDExit	録画中に電源 OFF されたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ

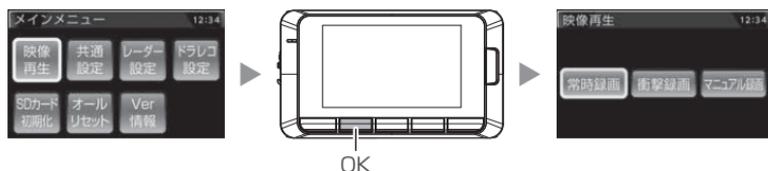
# 映像を見る

## 本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、メインメニューを表示する



2. [映像再生]が選択されているので、【OK】を押す



3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- [常時録画].....常時録画データを表示
- [衝撃録画].....衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画].....スイッチ操作による録画データを表示



4. フォルダを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

※本体での表示は、録画した年月日時をもとにしたフォルダ名称で表示し、録画した時分秒をもとにしたファイル名称で表示します。



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります。

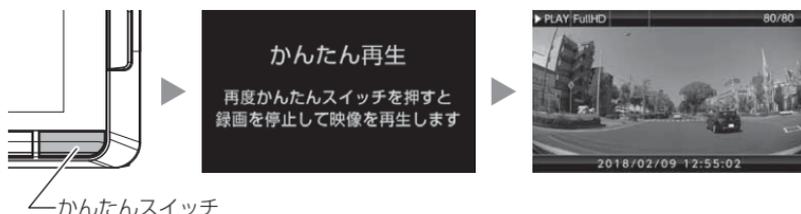


6. 再生終了後は【メニュー/戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

### 👉 アドバイス

#### かんたん再生機能

- ・本製品のかんたんスイッチの設定を【再生】に設定している場合、かんたんスイッチを押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生することができます。
  - ・再生後は再度かんたんスイッチを押すことで待機画面に戻ります。
- ※ かんたんスイッチの機能は設定で変更することができます。(⇒P106)

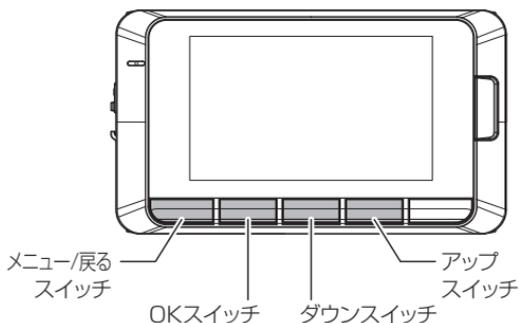


# 映像を見る

## 再生画面表示



## 再生画面での操作



操作スイッチ	短押し	長押し
メニュー/戻るスイッチ	前の画面に戻る	前の画面に戻る
OK スイッチ	再生 / 一時停止を行う	再生中のデータを最初から再生する
ダウンスイッチ	音量を下げる	前のデータへ戻る
アップスイッチ	音量を上げる	次のデータへ進む

## パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページよりダウンロードできる専用ビューワソフトをインストールすることで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

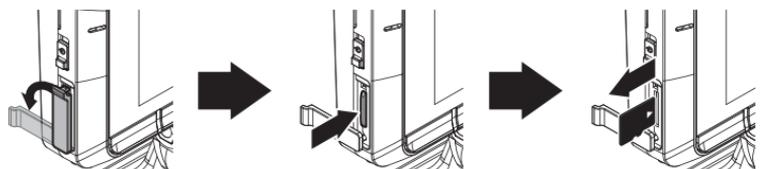
### アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。  
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10  
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨  
メモリー: 4GB 以上を推奨  
モニター解像度: SXGA (1280 × 1024 ピクセル) 以上を推奨  
※タブレット PC を除く
- ・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。

## ビューワソフトを使用する前に

本体から microSDHC カードを抜いてください。microSDHC カードを抜く際は、本体の電源スイッチを OFF 後、本体の LED が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。

microSDHC カードを軽く押し込み、

少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

### △ 注意

本製品が動作した状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。

# 映像を見る

## ビューソフトを使用する

- 1) 弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) より専用ビューソフトをダウンロードします。



PCVIEWER.zip  
(ダウンロードしたファイル)

- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



PCVIEWER.zip  
(ダウンロードしたファイル)

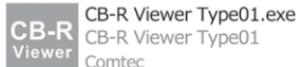


PCVIEWER フォルダー  
(展開してできたフォルダー)

- 3) 本体から抜き取った microSDHC カードをパソコンへ挿入します。



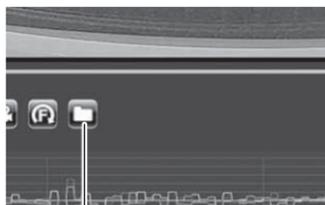
- 4) 2) で展開したフォルダー内にあるビューワソフトをダブルクリックします。



- 5) 【読み込み】ボタンをクリックし、[フォルダ指定]をクリックします。

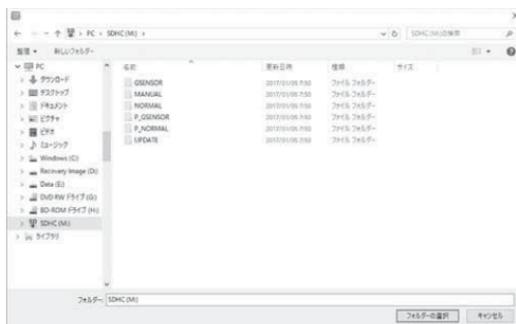
### アドバイス

[ファイル追加] をクリックすることで、再生したい映像を1ファイル単位で選択できます。



読み込みボタン

- 6) microSDHC カードを選択します。



# 映像を見る

7) 再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

## 再生画面



## アドバイス

ビューソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。

①	撮影映像を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑮	現在の再生位置を表示		
②	Google マップを表示 ※ GPS 未受信状態での記録映像やインターネット非接続時は表示されません	⑯	ビューワソフトの音量 / 再生速度を調整する		
③	現在の映像の再生時間を表示	⑰	最大加速度表示の範囲を表示する また [▲ / ▼] を押すことで表示の範囲を変更が可能		
④	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示		⑱	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.... 前後の加速度 (X 軸) 赤線.... 左右の加速度 (Y 軸) 青線.... 上下の加速度 (Z 軸)  ..... 衝撃を検出した場所  ..... スイッチ操作を検出した場所  ..... 緊急録画停止を検出した場所	
⑤	再生データの録画日時を表示				
⑥	加速度を数値で表示 またチェックボックスの ON/OFF でグラフの表示 / 非表示を選択				
⑦	【前へ】 ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る				
⑧	【頭出し】 ボタン 現在再生中の映像の最初に戻る			⑲	常時録画フォルダーのデータを表示する
⑨	【再生 / 一時停止】 ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる			⑳	衝撃録画フォルダーのデータを表示する
⑩	【次へ】 ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む	㉑	マニュアル録画フォルダーのデータを表示する		
⑪	【静止画】 ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみパソコンへ保存、または印刷する	㉒	録画データのファイルリストを表示		
⑫	【動画】 ボタン ファイルリストのチェックボックスにチェックを入れた録画データをパソコンへ保存する	㉓	最小化ボタン		
⑬	【回転】 ボタン 映像を 180° 回転する	㉔	映像の表示サイズを切替える		
⑭	【読み込み】 ボタン ビューワソフトに読み込むフォルダーおよびファイルを指定する	㉕	ビューワソフトを終了する		

# 映像を見る

## パソコンで録画データを保存する

ビューソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データを動画または静止画で保存することができます。

### 録画データを動画で保存する

- 1) 保存したいファイルのチェックボックスにチェックを入れる。

	常時録画	衝撃録画	マニュアル
トリ方	年月日	時:分:秒	
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:46:17
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:46:47
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:47:18
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:47:48
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:48:18
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:48:48
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:49:19
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:49:50
<input type="checkbox"/>	2018-02-09		10:50:20

└─ ①  
└─ ②  
└─ ③  
└─ ④  
└─ ⑤  
└─ ⑥  
└─ ⑦  
└─ ⑧  
└─ ⑨  
└─ ⑩  
└─ ⑪  
└─ ⑫  
└─ ⑬  
└─ ⑭  
└─ ⑮  
└─ ⑯  
└─ ⑰  
└─ ⑱  
└─ ㉰  
└─ ㉱  
└─ ㉲  
└─ ㉳  
└─ ㉴  
└─ ㉵  
└─ ㉶  
└─ ㉷  
└─ ㉸  
└─ ㉹  
└─ ㉺  
└─ ㉻  
└─ ㉼  
└─ ㉽  
└─ ㉾  
└─ ㉿  
└─ ㊀  
└─ ㊁  
└─ ㊂  
└─ ㊃  
└─ ㊄  
└─ ㊅  
└─ ㊆  
└─ ㊇  
└─ ㊈  
└─ ㊉  
└─ ㊊  
└─ ㊋  
└─ ㊌  
└─ ㊍  
└─ ㊎  
└─ ㊏  
└─ ㊐  
└─ ㊑  
└─ ㊒  
└─ ㊓  
└─ ㊔  
└─ ㊕  
└─ ㊖  
└─ ㊗  
└─ ㊘  
└─ ㊙  
└─ ㊚  
└─ ㊛  
└─ ㊜  
└─ ㊝  
└─ ㊞  
└─ ㊟  
└─ ㊠  
└─ ㊡  
└─ ㊢  
└─ ㊣  
└─ ㊤  
└─ ㊥  
└─ ㊦  
└─ ㊧  
└─ ㊨  
└─ ㊩  
└─ ㊪  
└─ ㊫  
└─ ㊬  
└─ ㊭  
└─ ㊮  
└─ ㊯  
└─ ㊰  
└─ ㊱  
└─ ㊲  
└─ ㊳  
└─ ㊴  
└─ ㊵  
└─ ㊶  
└─ ㊷  
└─ ㊸  
└─ ㊹  
└─ ㊺  
└─ ㊻  
└─ ㊼  
└─ ㊽  
└─ ㊾  
└─ ㊿  
└─ ㊀  
└─ ㊁  
└─ ㊂  
└─ ㊃  
└─ ㊄  
└─ ㊅  
└─ ㊆  
└─ ㊇  
└─ ㊈  
└─ ㊉  
└─ ㊊  
└─ ㊋  
└─ ㊌  
└─ ㊍  
└─ ㊎  
└─ ㊏  
└─ ㊐  
└─ ㊑  
└─ ㊒  
└─ ㊓  
└─ ㊔  
└─ ㊕  
└─ ㊖  
└─ ㊗  
└─ ㊘  
└─ ㊙  
└─ ㊚  
└─ ㊛  
└─ ㊜  
└─ ㊝  
└─ ㊞  
└─ ㊟  
└─ ㊠  
└─ ㊡  
└─ ㊢  
└─ ㊣  
└─ ㊤  
└─ ㊥  
└─ ㊦  
└─ ㊧  
└─ ㊨  
└─ ㊩  
└─ ㊪  
└─ ㊫  
└─ ㊬  
└─ ㊭  
└─ ㊮  
└─ ㊯  
└─ ㊰  
└─ ㊱  
└─ ㊲  
└─ ㊳  
└─ ㊴  
└─ ㊵  
└─ ㊶  
└─ ㊷  
└─ ㊸  
└─ ㊹  
└─ ㊺  
└─ ㊻  
└─ ㊼  
└─ ㊽  
└─ ㊾  
└─ ㊿

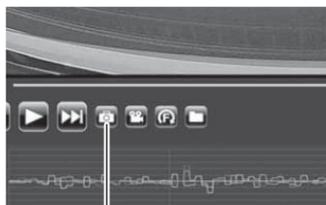
- 2) ビューソフトの【動画】ボタンを押し、動画の保存先を選択後、【フォルダーの選択】を押す。



- ②【フォルダーの選択】を押す

## 録画データを静止画で保存する

- 1) ビューソフトの【静止画】ボタンを押す。



静止画ボタン

- 2) 出力画面が表示されるので、【保存】を押す。

- ・ スライダーを動かすことにより、保存する画像の明るさを調整できます。
- ・ 拡大縮小ボタンは表示用です。印刷や保存時は元のサイズで印刷/保存されます。また中央のボタンを押すことで元のサイズに戻ります。



- 3) 静止画の保存先を選択後ファイル名を入力し、【保存】を押す。



②ファイル名を入力し、③【保存】を押す

## アドバイス

- ・ 【静止画】ボタンを押し、「印刷」を押すと、静止画を直接印刷できます。
- ・ 保存および印刷されるのは映像部分のみです。日時や加速度は保存、印刷されません。

# 映像を見る

## 地図表示について

- 走行速度および Google マップは GPS 情報がある場合に表示されます。また Google マップはインターネットに接続されていないと表示されません。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出・緊急録画停止検出の位置が表示されます。



### 《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン
	緊急録画停止検出アイコン		

※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。

# レーダー探知機機能について

<b>警報方法</b> .....	<b>48</b>
オービス警報 / ユーザーポイント警報	48
レーダー警報 .....	51
GPS 警報 .....	52
無線警報 .....	53
<b>レーダー探知機機能の便利な機能</b> .....	<b>54</b>
ユーザーポイントを登録する .....	54
警報をキャンセルする .....	55
最新データに更新する .....	60
レーダーおまかせ設定 .....	62
走行エリアを選ぶ (ロードセレクト機能) .....	64

# 警報方法

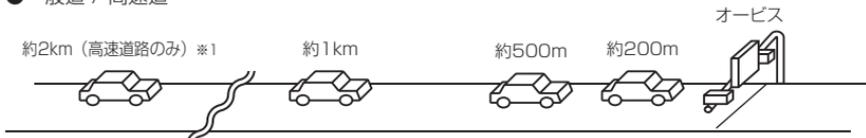
## オービス警報 / ユーザーポイント警報

オービス / ユーザーポイントに接近した場合、下記の位置で警報を行います。

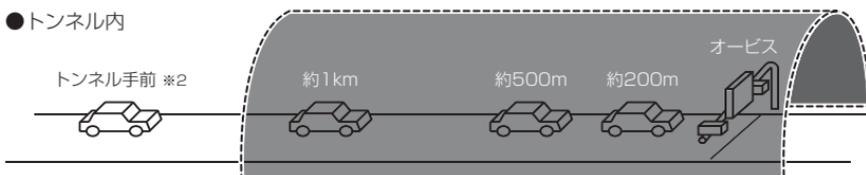
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

### ■警報を行う距離

#### ●一般道 / 高速道



#### ●トンネル内



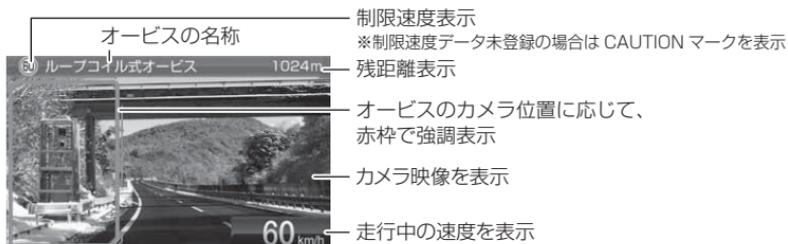
#### ●トンネル出口オービス



※ 1. 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、オービスの設置された道路の側道など、警報対象近くの平行する道路を走行中にも警報を行う場合があります。ユーザーポイント警報は、走行エリアの設定が『ハイウェイモード』の状態に登録した場合にアナウンスを行います。

※ 2. トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。

### 画面表示 ※オービス警報表示設定が [カメラ] の場合



## 音声アナウンス内容

速度や道路種類などによりアナウンスの内容が変わります。

## ■オービス / ユーザーポイント警報

	距離	道路種	カメラ位置	警報対象	速度 / 到達時間 / 制限速度
2km	2キロ先 (※ 1)	高速道	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	時速は約 (※ 2) キロ、 ・到達時間アナウンス (※ 3) ・制限速度アナウンス
1km	1キロ先	・高速道 ・一般道	—	LHシステム Hシステム レーダー	・走行速度アナウンス (※ 4) ・制限速度アナウンス
500m	この先	・高速道 ・一般道	・左側 ・正面 ・右側 (※ 5)	移動式小型オービス ユーザーポイント があります。	—

※ 1. 2キロは高速道路のみアナウンスします。

※ 2. アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。  
190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

※ 3. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

- ・到達時間アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、「到達時間は〇〇秒以内です」とアナウンスします。
- ・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、「制限速度は〇〇キロです」とアナウンスします。

※ 4. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

- ・走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、「時速は約 (※ 2) キロです」とアナウンスします。
- ・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、「制限速度は〇〇キロです」とアナウンスします。

※ 5. ユーザーポイント警報の際はカメラ位置のアナウンスは行いません。

- ・走行速度アナウンスの速度はアナウンス開始時点の速度であり、液晶ディスプレイに表示される速度は走行中の速度のため、アナウンス速度と表示される速度が異なる場合があります。
- ・到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。
- ・G システム (⇒ P27) 作動時は走行速度と到達時間のアナウンスを行いません。

# 警報方法

## ■ トンネル内 / トンネル出口オービス警報

※ トンネル出口オービス警報はトンネル手前での警報のみとなります。

	距離	道路種	場所	カメラ位置	警報対象	速度 / 制限速度
トンネル手前	—	・高速道 ・一般道	・トンネル内 ・トンネル出口	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	・走行速度アナウンス (※ 1) ・制限速度アナウンス
1km	1キロ 先	・高速道 ・一般道	トンネル内	—	LHシステム Hシステム レーダー	制限速度アナウンス (※ 1)
500m	この先	・高速道 ・一般道	トンネル内	・左側 ・正面 ・右側	移動式小型オービス があります。	—

※ 1. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

- ・ 走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約〇〇キロです』とアナウンスします。走行速度はアナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
- ・ 制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

G システム (⇒ P27) のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

## レーダー警報

- ・レーダー波を受信した場合、ASC 設定 (⇒ P79) の受信感度と取締機までの距離により下記表のように警報を行います。
- ・ステルス波は、至近距離で非常に強いレーダー波を照射するため、ASC 設定の内容に関わらず警報を行います。
- ・アラーム音は設定により音色を変更できます。(⇒ P81)

ステルス式の取締りの場合、至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや警報が間に合わないことがあります。

レーダー式取締機までの距離 (受信レベル)					
		LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。		
		HI	アラーム音が鳴る		
		S-HI			
		HYPER			

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

### 画面表示 ※スタンダード警報表示設定の場合



レーダー探知機機能について

# 警報方法

## GPS 警報

- ・本製品に登録された各種 GPS 警報ポイントに近づくと、液晶表示とアナウンスでお知らせします。
- ・各 GPS 警報のアナウンス内容に関しては P84～96 をご参照ください。

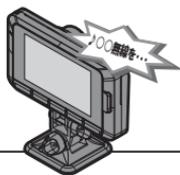


## 画面表示 ※スタンダード警報表示設定の場合



## 無線警報

- ・各種無線を受信すると、液晶表示とアナウンスでお知らせします。
- ・各無線警報のアナウンス内容に関してはP98～103をご参照ください。

無線を受信すると  
警報を行う

各種無線

本製品はおもに取り締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

## 画面表示 ※スタンダード警報表示設定の場合



# レーダー探知機機能の便利な機能



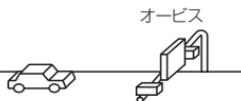
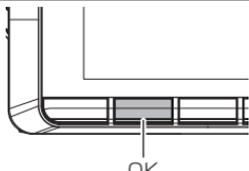
## ユーザーポイントを登録する

未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

### ⚠ 警告

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

## 登録方法

<p>①ポイントを登録したい地点で各種警報をしていないときに</p>	<p>②【OK】を長押しする</p>	<p>③「チャーン」ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。</p>
		

登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般 / 高速道共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティーモード設定時に警報します。
シティーモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティーモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

## 解除方法

登録したポイントの警報中に、再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

### 👉 アドバイス

#### 登録ができない場合

下記の場合、ユーザーポイントは登録できません。

- ・各種警報中および警報範囲走行中
- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ユーザーポイントの登録件数が 100 件を超えている場合

## 警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

### ⚠ 警告

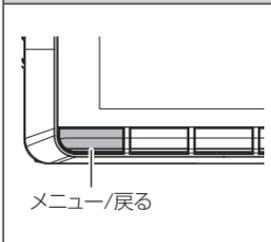
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

## 一時的にキャンセルする（ミュート）

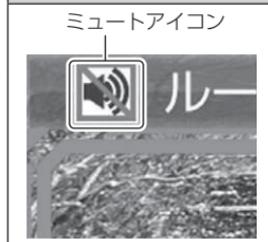
### ① 各種警報中に



### ② 【メニュー / 戻る】を短押しする



### ③ 「ピッ」とブザー音が鳴り、ミュートアイコンが表示されます。



## 解除方法

ミュート中に再度上記操作を行うことで、ミュート状態は解除されます。

### 👉 アドバイス

- ・ミュートアイコンが表示されている間は、警報音 / アナウンスによる警報を行いません。
- ・下記の場合もミュートアイコンが表示されます。
  - 誤警報の登録地点 (⇒ P56)
  - オービスポイントのキャンセル地点 (⇒ P58)
  - ASC 機能が作動中 (⇒ P79)
  - LSC 機能が作動中 (⇒ P80)
  - 誤警報キャンセルエリア走行中 (⇒ P95)
  - 対向車線のレーダー式オービス、Hシステムのレーダー波を受信した場合 (⇒ P57)

# レーダー探知機機能の便利な機能



## 誤警報地点を登録する

- ・自動ドアなど、レーダー波を受信してしまう場所をレーダーキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
- ・最大登録件数は、50 件です。

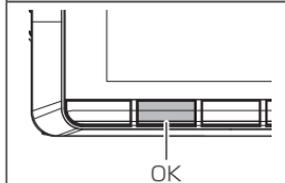
### ⚠ 警告

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

#### ①レーダー警報中に



#### ②【OK】を長押しする



#### ③「チャーン」レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



## 解除方法

本体をオールリセットすることで、登録が解除できます。ただし、録画データやその他設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。(⇒P109)

### 👉 アドバイス

#### 登録ができない場合

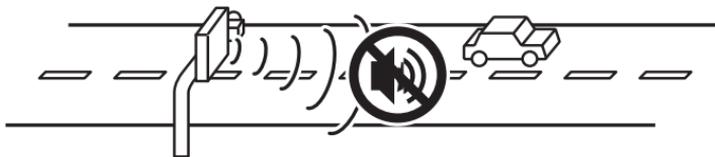
下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ポイント登録件数が 50 件を超えている場合

## 対向車線オービスのレーダー波を自動でキャンセルする



- ・対向車線のレーダー式オービス、Hシステムのレーダー波を受信した場合、自動で対向車線のオービスと認識し警報をミュートします。
- ・対向車線オービスキャンセル設定で ON/OFF を切替えることができます。(⇒ P81)



### ⚠ 注意

キャンセル中はすべてのレーダー波をミュートします。キャンセル中の走行には十分ご注意ください。

# レーダー探知機機能の便利な機能



## オービス /N システムをキャンセル登録する

- ・お買い上げ時から GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントを警報キャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は、30 件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

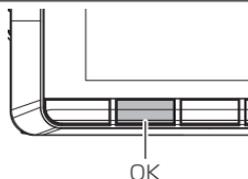
### ⚠ 警告

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

① オービス警報または N システム警報中に



② 【OK】を長押しする



③ 「チャラーン♪ 警報 キャンセルポイント登録 しました」とアナウンス されれば登録完了です。



## 解除方法

登録地点を走行中（ミュートマーク表示中）に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

### 👉 アドバイス

#### 登録ができない場合

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

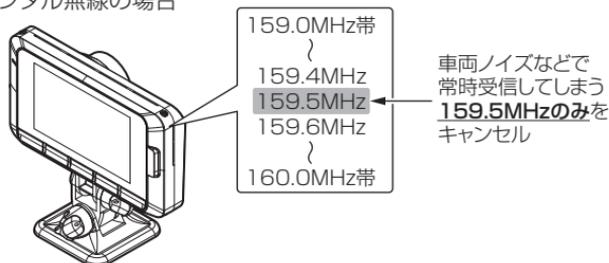
- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ポイント登録件数が 30 件を超えている場合

## 無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を無線キャンセルとして登録し、受信対象から外すことができます。

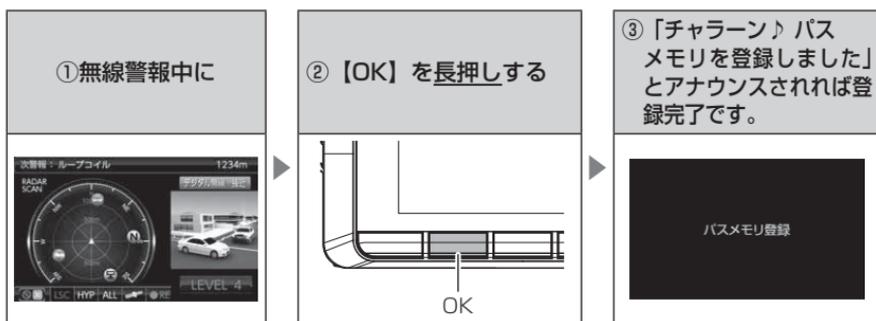
※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

（例）デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

・無線設定（⇒P97）でOFFに設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。



レーダー探知機機能について

## 解除方法

本体をオールリセットすることで、登録が解除できます。ただし、録画データやその他設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。（⇒P109）

### アドバイス

#### 登録ができない場合

カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

# レーダー探知機機能の便利な機能

## 最新データに更新する

本製品の GPS データは、最新バージョンへ更新することができます。

### ⚠ 注意

- ・ microSDHC カードを抜き差しする際は、必ず本体の電源を OFF にしてください。また無理に抜き差しすると、microSDHC カードや本体が破損するおそれがあります。
- ・ microSDHC カード以外のものを挿入しないでください。本体が破損するおそれがあります。
- ・ アップデート中は、microSDHC カードを抜いたり、電源スイッチを切ったりしないでください。microSDHC カードや本体が破損するおそれがあります。ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行なってください。

## データをダウンロードする

### ◆必要な物

- ・ パソコン（対応 OS : Windows10 / 8.1 / 7 / Vista / XP / 2000）
- ・ SD カードリーダー /ライター

### ◆更新方法

#### 方法①ワンクリック DL App を使用する

『ワンクリック DL App』を使用してカンタンに GPS データや公開取締情報のダウンロードができます。



#### 方法② SD カードに直接書き込む

『ワンクリック DL App』をインストールできない、または動作しない場合は、弊社ホームページよりデータをダウンロードし、SD カードにデータを直接書き込んでください。



### 👉 アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテック サービスセンターまでお送りください。

※お預かりでのデータ更新に関しましては**有料**となります。あらかじめご了承ください。

〒 470-0206

住所 愛知県みよし市筋生町下石田 60 番地

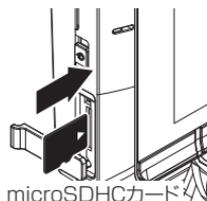
電話 0561-36-5654

株式会社 コムテック サービスセンター データ更新係 迄

## 操作方法

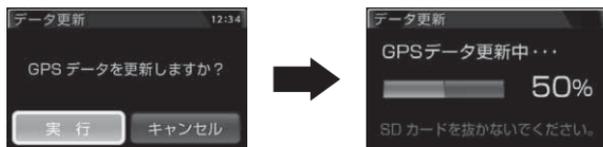
microSDHC カードを抜き差しする際は、必ず本体の電源が OFF になっていることを確認してください。microSDHC カードやデータの破損の原因となります。

1. 本体の microSDHC カードスロットに、データをダウンロードした microSDHC カードを「カチッ」と音がするまで挿入し、電源を入れます。(⇒ P24)



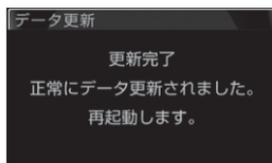
2. microSDHC カード内の最新データを確認するとデータ更新確認画面が表示されます。【アップ】または【ダウン】で [実行] を選択後、【OK】を押すとデータ更新が開始されます。

※データ更新中に microSDHC カードを抜いたり、本体の電源を切らないようにしてください。microSDHC カード、本体が破損する可能性があります。



3. 更新完了後、自動で再起動します。  
本体が正常に起動したらデータ更新は完了です。

・更新完了後、microSDHC カード内のデータは削除されます。



## アドバイス

エラーが発生した場合は、最初からやり直してください。



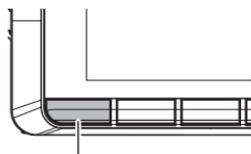
# レーダー探知機機能の便利な機能

## レーダーおまかせ設定

GPS 警報および無線警報を、4つのモードから一括で簡単に設定できる機能です。

### 設定方法

- 1.【メニュー/戻る】を長押ししてメインメニューを開きます。



メニュー/戻る

- 2.【アップ】または【ダウン】で【レーダー設定】を選択し、【OK】で決定します。



- 3.【アップ】または【ダウン】で【機能設定】を選択し、【OK】で決定します。



- 4.【アップ】または【ダウン】で【おまかせ設定】を表示させ、【かんたんスイッチ】で【おまかせ1/おまかせ2/オールオン/マニュアル】の中から選択し、【OK】で決定します。



- ・ [おまかせモード 1・2]..... 必要最低限の機能を使いたい方におすすめ
- ・ [オールオンモード]..... すべての機能を使いたい方におすすめ
- ・ [マニュアルモード]..... お好みの機能をそれぞれ設定して使いたい方におすすめ

### 👉 アドバイス

- ・ お買い上げ時は [マニュアルモード] に設定されています。
- ・ おまかせモード 1、おまかせモード 2、オールオンモードの設定中は『GPS 設定』および『無線設定』の設定を変更することは**できません**。
- ・ セーフモードの設定を『ALL ON』に設定している場合、セーフティウィーク期間中はオールオンモードになります。(⇒ P83)

## 設定内容一覧

	機能	おまかせ モード1	おまかせ モード2	オールオン モード	マニュアル モード
GPS 設定	W オービス	OFF	OFF	距離：500m	設定内容を任意で変更 できます。
	速度監視路線			距離：3km	
	取締ポイント	ON	ON	ON	
	白バイ警戒エリア				
	駐車監視エリア	サイレント			
	信号無視取締機ポイント	ON			
	過積載取締機ポイント				
	警察署エリア	OFF			
	交番エリア				
	高速道路交通警察隊エリア				
	事故ポイント				
	ヒヤリハット地点				
	N システム				
	SA/PA/HO				
	ハイウェイラジオ				
	道の駅 / 海の駅ポイント				
	急カーブポイント				
	トンネルポイント				
	県境ポイント				
	分岐合流ポイント				
	逆走お知らせポイント				
	消防署エリア	OFF			
	スクールエリア				
踏切ポイント					
誤警報キャンセルエリア					
冠水エリア					
ラウンドアバウト					
ゾーン 30	ON		ON		
無線 設定	カーロケ		HI	HI	HI
	350.1MHz				
	デジタル				
	取締特小				
	署活系	OFF	OFF	OFF	
	ワイド				
	警察 / 消防ヘリテレ				
	レッカー				
	新救急				
	消防				
	高速管理車両				
	警察活動				
	警備				
	タクシー				
パトロールエリア設定	ON	ON	ON		

# レーダー探知機機能の便利な機能

## 走行エリアを選ぶ（ロードセレクト機能）

- ・ 警報対象の走行エリアを AUTO / CTY / HWY / ALL から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。
- ・ 下記表を参照し、走行条件に合わせた道路種の設定を行なってください。

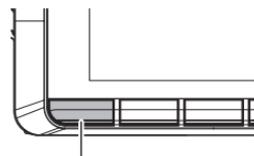
走行エリア		表示アイコン	GPS 警報を行う道路	モード確認アナウンスする速度の目安※
ALL	オールモード	<b>ALL</b>	一般道路／高速道路	—
CTY	シティーモード	<b>CTY</b>	一般道路のみ	80km/h 以上
HWY	ハイウェイモード	<b>HWY</b>	高速道路のみ	5km/h 以下
AUTO	オートモード	オールモード、シティーモード、ハイウェイモードを自動で切替える		—

※ その他お知らせ設定（⇒P76）を【ON】にした状態でシティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

## 設定方法

待機画面表示中に、【メニュー/戻る】を短押しする毎に、CTY → HWY → ALL → AUTO の順で切り替わります。

※設定メニュー内から変更することもできます。（⇒P78）



メニュー/戻る

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS データを基に、「オールモード」、「シティーモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。

そのため、下記のような場合など実際の走行道路と設定が異なる場合は、GPS 警報を行わないことがあります。

- ・ 高速道路走行中に渋滞などにより低速走行をしている場合。
- ・ 高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
- ・ 一般道路と高速道路が並行している場合。

# 設定

設定	66
設定方法	66
設定内容一覧	68
共通設定	73
表示設定	77
機能設定	78
GPS 設定	84
無線設定	97
ドラレコ設定	104
SD カードの初期化 (内部データの消去)	109
工場出荷状態に戻す (オールリセット)	109
Ver 情報	109

## ■ 各設定項目目次

### 共通設定

液晶表示設定	73
明るさ (昼間 / 夜間) 設定	73
ディマー設定	74
セーフティドライブサポート設定	75
アナウンス設定	75
時報設定	75
操作音設定	75
録画お知らせ音設定	76
その他お知らせ設定	76

### 表示設定

オービス警報表示設定	77
その他警報表示設定	77

### 機能設定

ロードセレクト設定	78
オービス接近警報設定	78
ASC 設定	79
LSC 設定	80
アラーム設定	81
対向車線オービスキャンセル設定	81
おまかせ設定	81
車両総重量設定	81
エフェクト設定	82
セーフモード設定	83

### GPS 設定

W オービス設定	84
速度監視路線設定	85

取締ポイント設定	85
信号無視取締機ポイント設定	87
過積載取締機ポイント設定	87
白バイ警戒エリア設定	87
警察署エリア設定	88
交番エリア設定	88
高速道路交通警察隊エリア設定	88
事故ポイント設定	88
ヒヤリハット地点設定	89
急カーブ設定	90
トンネルポイント設定	90
逆走お知らせ設定	91
N システム / NH システム設定	92
ハイウェイラジオ設定	92
SA/PA/HO 設定	92
道の駅 / 海の駅設定	93
県境設定	93
分岐 / 合流設定	93
スクールエリア設定	94
消防署エリア設定	94
冠水エリア設定	94
ラウンドアバウト設定	95
誤警報キャンセルエリア設定	95
駐車監視エリア設定	95
ゾーン 30 設定	96
踏切ポイント設定	96

### 無線設定

カーロケ無線設定	98
----------	----

350.1MHz 無線設定	99
デジタル無線設定	99
署活系無線設定	100
ワイド無線設定	100
取締特小無線設定	100
警察活動無線設定	101
パトロールエリア設定	101
警察 / 消防ヘリテレ無線設定	102
新救急無線設定	102
消防無線設定	102
レッカー無線設定	103
高速管理車両無線設定	103
警備無線設定	103
タクシー無線設定	103

### ドラレコ設定

録画おまかせ設定	104
録画サイズ設定	104
フレームレート設定	104
画質設定	104
録音設定	105
イベント録画領域設定	105
上書き禁止設定	105
G センサー設定	106
タイムスタンブ設定	106
かんたんスイッチ設定	106
緊急録画停止設定	107
画像補正設定	108
カメラ輝度設定	108

# 設定

## 設定方法

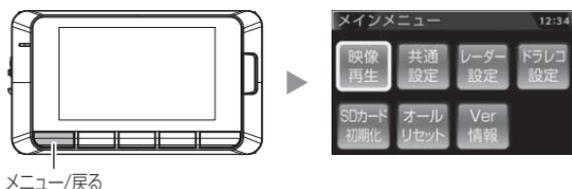
本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

【録画おまかせ設定】、【録画サイズ設定】、【フレームレート設定】、【画質設定】、【イベント録画領域設定】を変更した際は microSDHC カードの内容をすべて初期化します。ご注意ください。

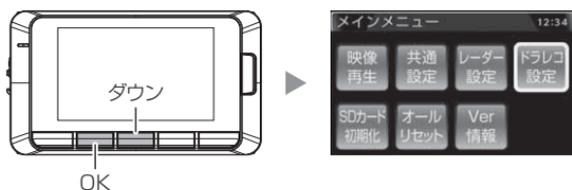
## 設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【FullHD】に設定変更するには・・・

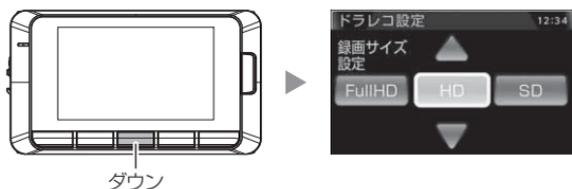
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、設定画面の【メインメニュー】を表示する



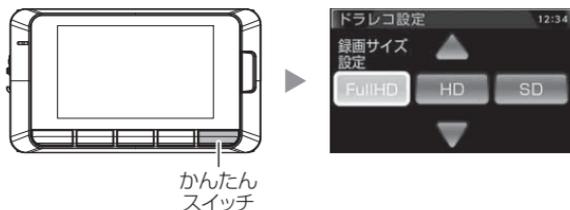
2. 【ダウン】を3回押して【ドラレコ設定】を選択し【OK】を押す



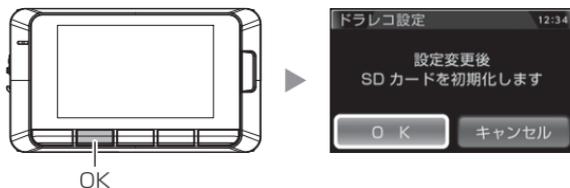
3. 【ダウン】を1回押して【録画サイズ】を表示する



4. **【かんたんスイッチ】** を 2 回押しして **【FullHD】** を選択し、**【OK】** を押す



5. microSDHC カードの初期化確認画面が表示されるので、初期化しても問題がなければ **【OK】** を押す



6. **【メニュー/戻る】** を 2 回押し、設定画面を抜けると、microSDHC カードの初期化が開始され、録画画面に戻ります

・続けて別項目を設定することもできます。



# 設定

## 設定内容一覧

### メインメニュー

項目	内容
映像再生	記録した映像の再生を行います
共通設定	本体のシステムに関する設定を行います
レーダー設定	レーダー探知機能に関する設定を行います
ドラレコ設定	ドライブレコーダー機能に関する設定を行います
SDカード初期化	録画データを消去し、SDカードを初期化します
オールリセット	録画データおよび設定情報を消去し、工場出荷状態に戻します
Ver 情報	本製品の GPS データやソフトウェアのバージョンを表示します。

### 共通設定一覧

項目	設定内容	備考
液晶表示時間	30 秒 / <b>[ ON ]</b> / OFF	
ディマー	OFF / 照度センサー / 時間 / <b>[ AUTO ]</b>	
明るさ (昼間)	1 / 2 / <b>[ 3 ]</b> / 4	
明るさ (夜間)	1 / 2 / <b>[ 3 ]</b> / 4	
セーフティドライブサポート	<b>[ OFF ]</b> / 鈍感 / やや鈍感 / やや敏感 / 敏感	
アナウンス	男性 / <b>[ 女性 1 ]</b> / 女性 2	
時報	<b>[ ボイス+チャイム ]</b> / ボイス / チャイム / OFF	
操作音	OFF / <b>[ ON ]</b>	
録画お知らせ	OFF / <b>[ ON ]</b>	
その他お知らせ	<b>[ OFF ]</b> / ON	

**[ 太字 ]** : 工場出荷時の初期設定です。

## レーダー設定一覧

## ■表示設定

項目	設定内容	備考
オービス警報表示	[ <b>カメラ</b> ] / スマート / イラスト	
その他警報表示	[ <b>スタンダード</b> ] / スマート / イラスト	

[ **太字** ] : 工場出荷時の初期設定です。

## ■機能設定

項目	設定内容	備考
ロードセレクト	[ <b>AUTO</b> ] / CTY / HWY / ALL	
オービス接近警報	[ <b>固定</b> ] / 速度連動	
ASC	LO / HI / S-HI / HYP / [ <b>AT</b> ]	
LSC	OFF / [ <b>ON</b> ] / ALL ON	
アラーム	[ <b>BZ1</b> ] / BZ2 / BZ3 / NA	
対向車線オービス キャンセル	OFF / [ <b>ON</b> ]	
エフェクト	[ <b>OFF</b> ] / エフェクト1 / エフェクト2	
レーダーおまかせ	おまかせ1 / おまかせ2 / オールオン / [ <b>マニュアル</b> ]	
セーフモード	OFF / [ <b>ON</b> ] / ALL ON	
車両総重量	軽自 / [ <b>小型</b> ] / 中型 / 大型	

[ **太字** ] : 工場出荷時の初期設定です。

# 設定

## ■ GPS 設定

項目	設定内容	備考
W オービス	OFF / [ 500m ] / 1km / 1.5km	
速度監視路線	[ OFF ] / 3km / 4km / 5km	
取締ポイント	OFF / [ ON ]	
信号無視取締機ポイント	OFF / [ ON ]	
過積載取締機ポイント	OFF / [ ON ]	
白バイ警戒エリア	OFF / [ ON ]	
警察署エリア	OFF / [ ON ]	
交番エリア	OFF / [ ON ]	
高速道路交通警察隊エリア	OFF / [ ON ]	
事故ポイント	OFF / [ ON ]	
ヒヤリハット地点	OFF / [ ON ]	
急カーブ	OFF / [ ON ]	
トンネルポイント	OFF / [ ON ]	
逆走お知らせ	OFF / [ ON ]	
N システム	OFF / [ ON ]	
ハイウェイラジオ	OFF / [ ON ]	
SA/PA/HO	OFF / [ ON ]	
道の駅 / 海の駅	OFF / [ ON ]	
県境	OFF / [ ON ]	
分岐 / 合流	OFF / [ ON ]	
スクールエリア (高校)	OFF / [ ON ]	
スクールエリア (中学校)	OFF / [ ON ]	
スクールエリア (小学校)	OFF / [ ON ]	
スクールエリア (幼 / 保)	OFF / [ ON ]	
消防署エリア	OFF / [ ON ]	
冠水エリア	OFF / [ ON ]	
ラウンドアバウト	OFF / [ ON ]	
誤警報キャンセルエリア	OFF / [ ON ]	
駐車監視エリア	OFF / [ ON ] / サイレント (注 1)	注 1 : 画面表示のみ で音声アナウンスは 行わない設定です。
ゾーン 30	OFF / [ ON ] / サイレント (注 1)	
踏切ポイント	OFF / [ ON ] / サイレント (注 1)	

【太字】 : 工場出荷時の初期設定です。

## ■無線設定

項目	設定内容	備考
カーロケ無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
350.1MHz 無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
デジタル無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
署活系無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
ワイド無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
取締特小無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
警察活動無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
警察ヘリテレ無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
新救急無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
消防ヘリテレ無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
消防無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
レッカー無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
高速管理車両無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
警備無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
タクシー無線	OFF / LOW / [ HIGH ]	
パトロールエリア	OFF / [ ON ]	

[ 太字 ] : 工場出荷時の初期設定です。

# 設定

## ドラレコ設定一覧

項目	設定内容	備考
録画おまかせ	<b>[ おすすめ ]</b> / きれい / ロング	microSDHC カード が初期化されます
録画サイズ	Full HD / <b>[ HD ]</b> / SD	
フレームレート	9.1fps / <b>[ 19.1fps ]</b> / 29.1fps	
画質	<b>[ 高画質 ]</b> / 低画質	
録音	OFF / <b>[ ON ]</b>	
イベント録画領域	10% / <b>[ 20% ]</b> / 30%	microSDHC カード が初期化されます
上書き禁止	<b>[ OFF ]</b> / イベント録画 / ALL	
G センサー	OFF / 0.1G ~ <b>[ 0.6G ]</b> ~ 1.0G	左右 / 前後 / 上下 それぞれ設定可能
タイムスタンプ	<b>[ OFF ]</b> / ON	
緊急録画停止	OFF / 1.2G / <b>[ 1.4G ]</b> / 1.6G / 1.8G	
かんたんスイッチ	再生 / <b>[ 録画 ]</b> / 録音	
画像補正	<b>[ OFF ]</b> / HDR-ON / WDR-ON	
カメラ輝度	明るい / <b>[ 標準 ]</b> / 暗い	

**[ 太字 ]** : 工場出荷時の初期設定です。

## 共通設定

### 液晶表示設定

- ・液晶ディスプレイの表示を [30 秒 / ON / OFF] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

#### ■設定内容

- [30 秒].....電源 ON 時に液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [ON].....液晶ディスプレイを常に表示します。
- [OFF].....液晶ディスプレイの表示を行いません。

#### アドバイス

##### 液晶消灯時について

液晶表示設定を [30 秒] または [OFF] に設定し、液晶が消灯している場合、本体のいずれかのスイッチを押した時や警報時、衝撃の検出時に液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。

### 明るさ（昼間 / 夜間）設定

- ・昼間と夜間のディスプレイの明るさを任意で 4 段階に切替えできます。
- ・お買い上げ時は、昼間【3】、夜間【3】に設定されています。

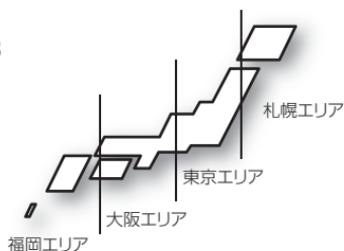
# 設定

## ディマー設定

- ・周囲の明るさや時刻によってディスプレイの明るさを自動的に切替えるオートディマー機能の動作設定を、[OFF/ 照度センサー/ 時間/ AUTO]から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。
- ・[照度センサー].....周囲の明るさを検知して、液晶ディスプレイの明るさを切替えます
- ・[時間].....時刻で液晶ディスプレイの明るさを切替えます
- ・[AUTO].....照度センサーと時刻で液晶ディスプレイの明るさを切替えます
- ・[OFF].....常に[明るさ(昼間)設定]で設定した明るさで液晶ディスプレイを表示します

### 🖱️ アドバイス

- ・ディマー設定を OFF にすると常に[明るさ(昼間)設定]で設定した明るさで表示されます。
- ・[照度センサー]に設定していると、取付場所によっては常にオートディマー機能が作動する事があります。その場合、設定を[時間]または[OFF]に切替えて使用してください。
- ・[時間]に設定した場合、各エリア(右図参照)を中心とした時季(2~4月/5~7月/8~10月/11~1月)の日の出と日の入り時刻の統計を基に、明るさを切替えます。





## セーフティードライブサポート設定

- ・急加速や急減速など、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声でお知らせする機能です。安全運転の目安にしてください。
- ・感度は [OFF / 鈍感 / やや鈍感 / やや敏感 / 敏感] の 5 段階から選択できます。
- ・お買い上げ時の感度は、【OFF】に設定されています。

状況	アナウンス内容
左右方向に G（急ハンドル）を検出した場合	急ハンドルを検知しました。
後方向に G（急加速）を検出した場合	急発進を検知しました。
前方向に G（急減速）を検出した場合	急ブレーキを検知しました。

## アナウンス設定

- ・アナウンス音声を [女性 1 / 女性 2 / 男性] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【女性 1】に設定されています。

## 時報設定

- ・時報を [ボイス + チャイム / ボイス / チャイム / OFF] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【ボイス + チャイム】に設定されています。

## 操作音設定

- ・操作時の確認音の ON/OFF を設定することができます。
- ・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

# 設定

## 録画お知らせ音設定

- ・起動時の音の [ON/OFF] を設定することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

## その他お知らせ設定

- ・電源 ON 時のあいさつアナウンスや衛星受信・未受信時のアナウンスなどの ON/OFF を設定することができます。
- ・お買い上げ時は、【OFF】に設定されています。

### ■ ON/OFF されるアナウンス

状態	アナウンス内容
衛星受信	衛星を受信しました
衛星未受信	衛星を受信できません
起動後、2 時間経過	運転時間が 2 時間になりました そろそろ休憩してください
走行エリアの 自動切替えアナウンス (オートモード設定時)	(ハイウェイ / シティ / オール) モードに切替えます
あいさつアナウンス	※下記表参照

電源 ON 時のあいさつアナウンスは起動時刻により切替わります。

起動時刻	アナウンス内容
4:00 ~ 9:59	おはようございます
10:00 ~ 17:59	こんにちは
18:00 ~ 3:59	こんばんは

### アドバイス

走行エリアの切替えアナウンスは、すべての切替時にアナウンスを行うものではありません。場所によりアナウンスを行わずに走行エリアの切替のみを行う場合があります。

## [レーダー設定] 表示設定

### オービス警報表示設定

- ・オービス警報時の画面表示を [カメラ / スマート / イラスト] から選択できます。
- ・お買い上げ時は、【カメラ】に設定されています。

### その他警報表示設定

- ・各警報画面の表示方法を [スタンダード / スマート / イラスト] から選択できます。
- ・お買い上げ時は、【スタンダード】に設定されています。

### ■オービス警報表示 / その他警報表示設定の設定別警報画面例

設定	内容	表示画面
カメラ オービス警報 表示設定のみ	オービス警報の際に 1km 手前の警報時点で自動的にカメラ映像に切替わり、500m から最接近まではオービス位置を赤く強調して表示します。	
スタンダード その他警報 表示設定のみ	3D グラフィックで警報を表示します。	 警報エリア
スマート	待機画面を表示したまま、画面上部に警報を表示します。	 警報エリア
イラスト	警報内容を全画面でわかりやすく表示します。	 警報エリア

# 設定

## [レーダー設定] 機能設定

### ロードセレクト設定

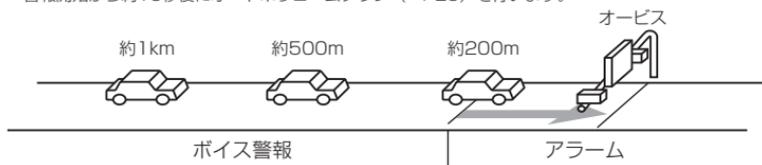
- ・GPS 警報を行う走行エリアを [AUTO/CTY/HWY/ALL] から選択することができます。(⇒ P64)
- ・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

### オービス接近警報設定

- ・オービス接近アラームを行う距離を、オービス設置路線の制限速度および自車の走行速度によって切替えることができます。また、常に同じ距離でオービス接近アラームを行うように設定することもできます。
- ・お買い上げ時は、【固定】に設定されています。

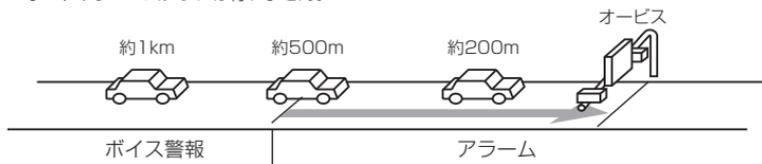
#### ■ 固定

- ・200m地点からアラームによる警報を行います。
- ・警報開始から約10秒後にオートボリュームダウン (⇒P25) を行います。



#### ■ 速度連動

- ・500m地点通過時の速度が制限速度を超えていた場合、500m地点からアラーム警報を行います。
- ・制限速度以下の場合、固定設定と同様200m地点からアラームによる警報を行います。
- ・制限速度情報が登録されていない場合は、一般道路：50km/h、高速道路：80km/hを超えていた場合、500m地点からアラーム警報を行います。
- ・オートボリュームダウンは行いません。



- ・速度連動に設定した場合、以下のように警報を行います。

制限速度情報	道路種類	走行速度	警報開始距離	
			500m 手前	200m 手前
登録あり	高速道路 / 一般道路	制限速度超過	アラーム	アラーム継続
		制限速度以下	ボイス警報	アラーム
登録なし	高速道路	80km/h 超過	アラーム	アラーム継続
		80km/h 以下	ボイス警報	アラーム
	一般道路	50km/h 超過	アラーム	アラーム継続
		50km/h 以下	ボイス警報	アラーム

## ASC 設定

- ・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、[AT] に設定すると、低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報音をミュート（消音）し、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。※警報画面表示は行います。
- ・お買い上げ時は、【AT】 に設定されています。

### ● AUTO 設定

[AT] に設定することで、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節します。

車両状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	LOW ⇄ HI ⇄ S-HI ⇄ HYPER と車速に応じて受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能 (オート・センシティブ・コントロール)	自車の走行速度に合わせて設定を切替える	30km/h 未満	LOW
		30km/h ~ 60km/h 未満	HI
		60km/h ~ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

※ 衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

### ● マニュアル設定

マニュアル設定することで、受信感度を固定することができます。  
下記表を参考に、最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	表示アイコン
LO	市街地	低速走行	
HI	郊外地	中速走行	
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	
HYP	高速道路	高速走行	

# 設定

## LSC 設定

- ・LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞などで車が低速走行時に、警報音を自動的にミュートする機能です。
- ・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。
- ・[ON] .....低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をミュート
- ・[ALL ON] .....低速走行時に GPS 警報、レーダー警報および無線警報の警報音をミュート
- ・[OFF] .....走行速度に関係なく警報音を鳴らす

機能	動作内容
LSC 機能 (ロー・スピード・キャンセル)	自車の走行速度が 30km/h 以下の場合、警報音をミュートする

### ● LSC マークについて

LSC 機能の作動を 2 段階表示でディスプレイにて確認することができます。

状態	走行状態	アイコン表示	警報
LSC	停車中～ 30Km/h		しない
	30Km/h 以上		する
LSC 機能を OFF または衛星を受信していない時			する

## アラーム設定

- ・レーダー警報およびオービス接近時の警報音を [ブザー 1 / ブザー 2 / ブザー 3 / NA (ナレーション)] のいずれかで鳴らすことができます。
- ・お買い上げ時は、【BZ1】に設定されています。
- ・【BZ1・2・3 (ブザー) ]... ブザーを警報音に設定します。
- ・【NA (ナレーション) ]..... 警報を音声アナウンスでお知らせします

## 対向車線オービスキャンセル設定

- ・対向車線オービスキャンセル機能 (⇒ P57) の設定を [OFF / ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

## おまかせ設定

- ・各種警報の設定を一括で変更することができます。(⇒ P62)
- ・お買い上げ時は、【マニュアル】に設定されています。

## 車両総重量設定

- ・車両総重量を設定すると、『パワーチェック』画面で自車のおおよその馬力を表示することができます。
- ・下記表を参考に自車の車両総重量に近い設定を選択してください。
- ・お買い上げ時は、【小型車】に設定されています。

設定	車両総重量の目安
軽自動車	1250kg 前後
小型車	1750kg 前後
中型車	2250kg 前後
大型車	2500kg 前後

# 設定

## エフェクト設定

- ・警報時の効果音と音声アナウンスの組み合わせを [OFF / エフェクト1 / エフェクト2] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【OFF】に設定されています。

	項目	OFF (初期設定)	エフェクト1	エフェクト2
GPS 警報	オービス/ユーザーポイント	効果音 + アナウンス	効果音のみ	アナウンスのみ
	速度監視路線/ダブルオービス			
	Nシステム			
	取締ポイント			
	信号無視取締機ポイント			
	過積載取締機ポイント			
	白バイ警戒エリア			
	警察署エリア/交番エリア			
	高速道路交通警察隊エリア			
	事故ポイント			
	ヒヤリハット地点			
	SA/PA/HO			
	道の駅/海の駅ポイント			
	急カーブポイント/トンネルポイント			
	分岐・合流ポイント			
	駐車監視エリア			
	逆走お知らせポイント			
	消防署エリア			
	スクールエリア			
踏切ポイント				
ゾーン30				
冠水ポイント				
ラウンドアバウト				
県境	効果音 + アナウンス	効果音 + アナウンス		
無線 警報	カーロケ無線	効果音 + アナウンス	効果音のみ	アナウンスのみ
	350.1MHz 無線			
	デジタル無線			
	署活系無線			
	ワイド無線			
	取締特小無線			
	警察活動無線			
	警察ヘリテレ無線			
	パトロールエリア			
	新救急無線			
	消防ヘリテレ無線			
	消防無線			
	レッカー無線			
	高速管理車両無線			
	警備無線			
タクシー無線				

## セーフモード設定

- ・春 / 秋の交通安全運動期間および年末年始取締強化運動期間（セーフティウィーク）のお知らせを [OFF/ON/ALL ON] から選択できます。
- ・セーフティウィーク中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示を行います。また設定により [レーダーおまかせ設定]（⇒ P62）をオールオンモードに切替えます。
- ・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。
- ・ALL ON..... セーフティウィーク中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示を行い、[レーダーおまかせ設定]をオールオンモードに切替えます。
- ・ON..... セーフティウィーク中に電源が入ると音声アナウンスと画面表示を行います。[レーダーおまかせ設定]の設定は切替えません。
- ・OFF..... セーフティウィーク中に電源が入っても、音声アナウンスも画面表示も行いません。

セーフモード設定を [ALL ON] に設定している場合、セーフティウィーク期間中は、レーダーおまかせ設定が自動的にオールオンモード設定に切替わります。

セーフティウィーク	期間（※）	アナウンス / 表示画面
春の交通安全運動期間	4月6日～4月15日 ※統一地方選挙のある年は 5月11日～5月20日 に変更となります。	「春の交通安全運動期間です」 
秋の交通安全運動期間	9月21日～9月30日	「秋の交通安全運動期間です」 
年末年始取締強化運動期間	12月15日～1月5日	「年末年始取締強化運動期間です」 

※ 交通安全運動期間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

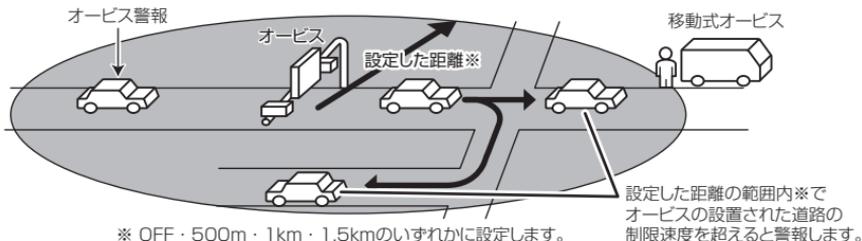
# 設定

## [レーダー設定] GPS 設定



### W オービス設定

- ・一般道路上のオービスポイントを通過後、設定した距離の範囲内でオービスの設置された道路の制限速度を超過して走行した際にお知らせします。
- ・オービスポイント通過後の距離は [500m/1km/1.5km/OFF] から選択することができます。



### アナウンス

効果音 この先 ダブルオービスにご注意ください。

### アドバイス

- ・500m 以内で信号などにより停止 (5km/h 以下) した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
- ・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- ・オービス通過後、500m 以内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えた時にダブルオービスの警報を行います。



## 速度監視路線設定

- ・オービスが設置された路線であることをオービスポイントの手前であらかじめお知らせします。
- ・[3km/4km/5km/OFF] から選択する事ができ、お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### アナウンス

効果音、この先 高速道 速度監視路線です。

※ 走行エリア (⇒ P64) がシティーモード以外の時に有効です。

### アドバイス

トンネルや分岐、合流により、設定した距離の前後で案内する場合があります。



## 取締ポイント設定

過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録しており、取締ポイントに接近すると約 200m ~ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントから離れた時に回避をお知らせします。

### 《取締種類》

- ・[速度取締り].....ネズミ捕りなどの取締りポイント
- ・[検問取締り].....飲酒 / シートベルト / 携帯電話などの取締りポイント
- ・[交通取締り].....一時停止無視や信号無視などの取締りポイント
- ・[その他取締り].....上記以外の取締りを行なっているポイント
- ・[重点取締り].....上記取締ポイントが 2 つ重なっている場合に警報
- ・[最重点取締り].....上記取締ポイントが 3 つ以上重なっている場合に警報

※ 高速道路上の取締ポイントはその他取締りとして警報を行います。

# 設定

取締種類	アナウンス
速度 / 検問 / 交通	効果音 この先 一般道 [速度 / 検問 / 交通] 取締りにご注意ください。
重点 / 最重点	効果音 この先 一般道 [重点 / 最重点] 取締りポイントがあります。 ご注意ください。
その他	効果音 この先 ( <small>高速道</small> <small>一般道</small> ) 取締りにご注意ください。
回避	効果音 取締りを回避しました。

## 👉 アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。

### 《取締アイコン一覧》



速度・移動式  
オービス取締り



飲酒取締り



シートベルト・  
携帯電話取締り



一時停止取締り



右折禁止取締り



通行区分違反  
取締り



歩行者用道路  
徐行違反取締り



信号無視取締り



過積載取締り



その他取締り

## 信号無視取締機ポイント設定



- ・信号無視監視機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 一般道信号無視取締機にご注意ください。

※ 走行エリア (⇒ P64) がハイウェイモード以外の時に有効です。

## 過積載取締機ポイント設定



- ・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量が無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 ( 高速道 / 一般道 ) 過積載取締機にご注意ください。

## 白バイ警戒エリア設定



本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近 (約 300m) するとお知らせします。

状況	アナウンス
通常	効果音 この先 白バイ取締りにご注意ください。
重点	効果音 この付近 白バイ重点警戒エリアです。取締りにご注意ください。

### アドバイス

白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行なったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。

# 設定



## 警察署エリア設定

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 警察署があります。

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。



## 交番エリア設定

本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 交番があります。

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。



## 高速道路交通警察隊エリア設定

本機に登録されている高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 高速道路交通警察隊エリアです。

## 事故ポイント設定

本機に登録されている事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この先（高速道  
一般道）事故多発地点です。



## ヒヤリハット地点設定

本機に登録されているヒヤリハット地点に接近(約 1km)するとお知らせします。

### アナウンス

効果音、この先 高速道 ヒヤリハット地点です。  
安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア (⇒ P64) がシティーモード以外の時に有効です。

### アドバイス

高速道路上の事故が発生しやすい箇所や、運転に注意すべき箇所をヒヤリハット地点として登録しています。

### 《ヒヤリハットアイコン一覧》



下り坂



長い下り坂



急な下り坂



右カーブ



左カーブ



連続カーブ



急カーブ



トンネル、橋梁



分岐合流



事故多発地点



渋滞多発地点



重大事故発生地点



わき見、居眠り注意



凍結、降雪時注意



その他注意

# 設定



## 急カーブ設定

本機に登録されている急カーブ付近に接近(約 300m)すると、お知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 高速道(※1)急カーブです。

- ※ 走行エリア(⇒ P64)がシティーモード以外の時に有効です。
- ※ 1. カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

- 全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道(一般道路)を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



## トンネルポイント設定

本機に登録されているトンネル付近に接近(約 1km)すると、お知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 高速道(※1)トンネルがあります。

- ※ 走行エリア(⇒ P64)がシティーモード以外の時に有効です。
- ※ 1. トンネルの状況に応じて、長い、連続するのいずれかをアナウンスします。

- 全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道(一般道路)を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



## 逆走お知らせ設定

全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や、入口から本線に合流しようとする時、お知らせします。

### アナウンス

効果音 逆走注意 進行方向をご確認ください。

#### 《出入口が別方向の場合》

サービスエリアなどで停車後、20km/h 以上でサービスエリアなどの入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。

#### 《出入口が同じ方向の場合》

サービスエリアなどで停車した時に警報を行います。

その後発進し、20km/h 以上になった場合に、再度警報を行います。

逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P64）および LSC の設定（⇒ P80）に関わらず、警報を行います。

# 設定



## Nシステム/NHシステム設定

Nシステム/NHシステムポイントに接近するとお知らせします。

※ 対向車線上のNシステム/NHシステムへの警報は行いません。

※ 本製品は、NHシステムをNシステムとして警報を行います。



### アナウンス

効果音 この先 ( <sup>高速道</sup> <sub>一般道</sub> ) Nシステムがあります。

警報を行う距離は、対象とするNシステム/NHシステムからの直線距離です。道路の高低差やカーブの大きさなどによっては、実際の走行距離と異なる場合があります。



## ハイウェイラジオ設定

ハイウェイラジオ受信可能エリアに接近するとお知らせします。

### アナウンス

効果音、この先 高速道  
ハイウェイラジオ受信エリアがあります。

※ 走行エリア (⇒ P64) がシティーモード以外の時に有効です。



## SA/PA/HO 設定

全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリアまたはパーキングエリアに接近すると、2km 手前でお知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 高速道  
[ サービスエリア / パーキングエリア / ハイウェイオアシス ] があります。

※ 走行エリア (⇒ P64) がシティーモード以外の時に有効です。

## 道の駅 / 海の駅設定



本機に登録されている道の駅や海の駅付近に接近（約1km）すると、お知らせします。

## アナウンス

効果音 この付近 一般道 [道の駅 / 海の駅] があります

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。

## 県境設定



県境を通過すると、都道府県をお知らせします。

## アナウンス

効果音 この先（※1）です。

※ 1. 都道府県をアナウンスします。

全ての県境で警報するわけではありません。また、山間部やトンネル出口付近など、衛星の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。

## 分岐 / 合流設定



本機に登録されている分岐合流付近に接近（約500m）すると、お知らせします。

## アナウンス

効果音 この先 高速道 [分岐 / 合流] があります。

※ 走行エリア（⇒ P64）がシティーモード以外の時に有効です。

- 全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

# 設定



## スクールエリア設定

- ・本機に登録されている幼稚園 / 保育園、小学校、中学校、高校付近に接近（約 200m）するとお知らせします。  
※月曜日から金曜日の 7:00 ~ 9:00、12:00 ~ 18:00 のみ警報を行います。
- ・幼稚園 / 保育園、小学校、中学校、高校それぞれの動作を ON/OFF することができます。

### アナウンス

効果音 この付近 スクールエリアです。 安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。



## 消防署エリア設定

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 消防署があります。

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。



## 冠水エリア設定

本機に登録してある冠水エリアに接近するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この先 冠水エリアがあります。

※ 走行エリア（⇒ P64）がハイウェイモード以外の時に有効です。



## ラウンドアバウト設定

本機に登録してあるラウンドアバウトに接近するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 ラウンドアバウトがあります。 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア (⇒ P64) がハイウェイモード以外の時に有効です。



## 誤警報キャンセルエリア設定

レーダー波の誤警報を行う地点を、予めミュートポイントとして本機に登録しており、ミュートポイント内でレーダー波を受信した際に自動的にミュートを行う機能です。



## 駐車監視エリア設定

各警察より発表される「最重点地域」、「重点地域」を基に、弊社調査による監視(駐禁)エリアが登録されています。監視エリア付近に接近するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 駐車監視エリアです。

- ※ 走行エリア (⇒ P64) がハイウェイモード以外の時に有効です。
- ※ 駐車監視エリア内を走行中は、待機画面内の警報アイコン表示部 (⇒ P28-①) に「駐禁アイコン」が表示されます。



アイコン表示

- ・全ての駐車監視エリアで警報するわけではありません。
- ・衛星の受信状況により実際の駐車監視エリアと異なる場所で警報することがあります。



## ゾーン 30 設定

本機に登録されているゾーン 30 に接近するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 ゾーン 30 です。 安全運転を心がけましょう。

- ※ 走行エリア (⇒ P64) がハイウェイモード以外の時に有効です。
- ※ ゾーン 30 内を走行中は、待機画面内の警報アイコン表示部 (⇒ P28-①) に「ゾーン 30 アイコン」が表示されます。



アイコン表示

- 全てのゾーン 30 で警報するわけではありません。
- 衛星の受信状況により実際のゾーン 30 と異なる場所で警報することがあります。

### アドバイス

#### ゾーン 30 とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



## 踏切ポイント設定

本機に登録されている踏切付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

### アナウンス

効果音 この付近 踏切があります。

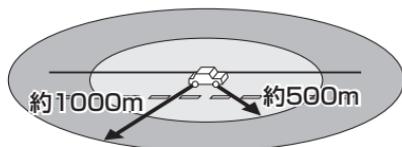
- ※ 走行エリア (⇒ P64) がハイウェイモード以外の時に有効です。

## [レーダー設定] 無線設定

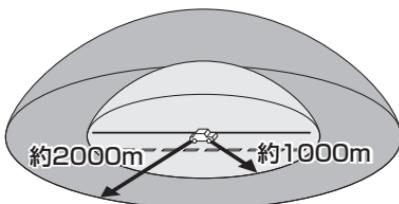
- 本製品は、各種無線の受信感度を OFF/LOW/HI に設定することができます。
- 下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。
- 全ての無線波で通話音声内容は受信しません。

 … [LOW]設定時

 … [HI]設定時



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、  
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、  
警察活動、警備、タクシーの各無線



警察/消防ヘリテレ無線

### ⚠ 注意

- 放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- 使用状況、走行状態、製品取付位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

# 設定

## カーロケ無線設定（カー・ロケーター・システム）

緊急車両に装備された GPS 受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 カーロケ無線を受信しました。
近い	効果音 カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
回避	効果音 カーロケ無線を回避しました。

### △ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

- ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
- ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

## 350.1MHz 無線設定（取締用連絡無線）

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締りなどで使用することがあります。



### アナウンス

効果音 350.1 無線を受信しました。

## デジタル無線設定

各警察本部と移動局（緊急車両など）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 デジタル無線を受信しました。
近い	効果音 デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

# 設定

## 署活系無線設定

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス
効果音 署活系無線を受信しました。

## ワイド無線設定

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音 ワイド無線を受信しました。
近い	効果音 ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

## 取締特小無線設定

シートベルト、一旦停止など取締現場では通常 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音 取締特小無線を受信しました。

## 警察活動無線設定

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

### アナウンス

効果音 警察活動無線を受信しました。

## パトロールエリア設定

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

### アナウンス

効果音 パトロールエリアです。ご注意ください。

### アドバイス

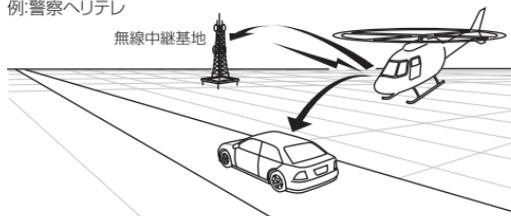
- ・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
- ・必ず検問、取締などを行なっているとは限りません。

# 設定

## 警察／消防ヘリテレ無線設定

- ・警察ヘリテレは主に事件・事故などの情報収集、取締りなどの時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。
- ・消防ヘリテレは火事などの事故処理や連絡用として使われています。

例:警察ヘリテレ



- ※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていないため、本製品では受信できないことがあります。
- ※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- ※送信電波の中継基地周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音 消防ヘリテレ無線を受信しました。

## 新救急無線設定

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス
効果音 新救急無線を受信しました。

## 消防無線設定

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス
効果音 消防無線を受信しました。

## レッカー無線設定

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

### アナウンス

効果音 レッカー無線を受信しました。

## 高速管理車両無線設定

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。

### アナウンス

効果音 高速管理車両無線を受信しました。

## 警備無線設定

各地の警備会社が使用する無線です。

### アナウンス

効果音 警備無線を受信しました。

## タクシー無線設定

各地のタクシー会社が使用する無線です。

### アナウンス

効果音 タクシー無線を受信しました。

# 設定

## ドラレコ設定

### 録画おまかせ設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・【録画サイズ】や【フレームレート】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [ おすすめ / キレイ / ロング ] から選択できます。

#### ■設定内容

設定	おすすめ	キレイ	ロング
録画サイズ	HD	FullHD	SD
フレームレート	19.1fps	29.1fps	9.1fps
画質	高画質	高画質	低画質

### 録画サイズ設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [ Full HD / HD / SD ] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD】に設定されています。

### フレームレート設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像のフレームレートを [ 9.1fps / 19.1fps / 29.1fps ] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【19.1fps】に設定されています。

#### 👉アドバイス

フレームレートとは1秒あたりの記録枚数を表しており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されますがデータサイズが大きくなり、microSDHC カードに記録できる件数が減ります。

### 画質設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像の画質を [ 高画質 / 低画質 ] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。

## 録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかの [ON/OFF] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

## イベント録画領域設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・イベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）のデータ保存容量の割合を [10%/20%/30%] から選択することができます。（⇒P27）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・お買い上げ時は【20%】に設定されています。

### 👉 アドバイス

初期設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の領域として設定されています。

### ■ microSDHC カード容量によるイベント録画ファイル数の目安

設定	microSDHC カード容量			
	4GB	8GB	16GB	32GB
10%	約 10 ファイル	約 20 ファイル	約 40 ファイル	約 80 ファイル
20%	約 20 ファイル	約 40 ファイル	約 80 ファイル	約 160 ファイル
30%	約 30 ファイル	約 60 ファイル	約 120 ファイル	約 240 ファイル

※ 上記イベント録画ファイル数は目安となり、実際と異なる場合があります。

## 上書き禁止設定

- ・録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF/ イベント録画 / 全録画] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続
イベント録画	イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	録画を停止
全録画	すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	録画を停止

# 設定

## G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時はそれぞれ 【0.6G】 に設定されています。

## タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は 【OFF】 に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

## かんたんスイッチ設定

- ・かんたんスイッチの動作内容を [再生 / 録画 / 録音] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は 【録画】 に設定されています。

[再生].....最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生できます。(⇒P33)

[録画].....マニュアル録画を行います。

[録音].....一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

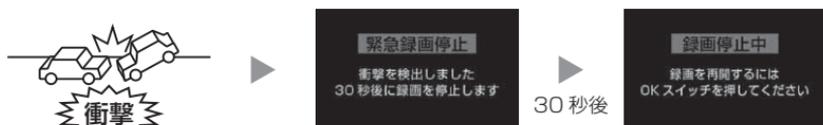
## アドバイス

### 【録音】 設定について

- ・録音設定の ON/OFF はかんたんスイッチを押すたびに ON/OFF が切替わります。
- ・かんたんスイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】(⇒P47) で選択した設定に戻ります。
- ・操作を行うと、【液晶表示設定】を [OFF] や [30 秒] に設定していても操作確認のため、30 秒間液晶ディスプレイの表示を行います。

## 緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
  - ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.2G/1.4G/1.6G/1.8G] から選択できます。
  - ※ 数値が小さいほど敏感な設定になります。
- ・お買い上げ時は【1.4G】に設定されています。



マニュアル録画 (⇒ P33) 中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSDHC カードに保存されます。

### アドバイス

#### 事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

#### ■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。



# 設定

## 画像補正設定

- ・本製品には画像補正機能として、HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）機能および WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）機能を搭載しています。
- ・HDR 機能または WDR 機能を ON にすることで白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

[OFF] ..... 画像補正を行わず、撮影したデータのまま記録します。

[HDR-ON] ..... 画像補正により、鮮明な映像を記録します。

[WDR-ON] ..... 画像補正により、HDR 機能より鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。

- ・HDR 機能を ON にすると撮影条件によって一部の画像が二重に重なって記録される場合があります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### アドバイス

#### 白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

## カメラ輝度設定

- ・撮影映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

## SDカードの初期化（内部データの消去）

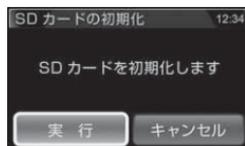
- ・ microSDHC カードの内部データを消去し初期化を行います。（初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
- ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。

### ■初期化方法

- 1) メインメニューを表示し、【アップ】または【ダウン】で [SD カード初期化] を選択し、【OK】を押す



- 2) 確認画面が表示されるので、初期化しても問題なければ、【OK】を押すことで microSDHC カードが初期化されます



### 👉 アドバイス

- ・ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に内部データのバックアップを行なってください。
- ・ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

## 工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

### ⚠ 注意

消去したデータを復元することはできません。

## Ver 情報

本製品のソフトウェアバージョンを表示します。



# その他

付 録 .....	112
取締りの種類と方法 .....	112
ディスプレイモード（販売店向け機能） .....	116
レーダースキャン画面の 表示アイコンについて .....	116
LED ランプ確認表 .....	117
エラー確認表 .....	117
よくあるご質問 .....	118
記録時間の目安 .....	120
製品仕様 .....	121
さくいん .....	122

## 取締りの種類と方法

### レーダー式の取締り

#### ● ステルス式取締方法（有人式取締り）

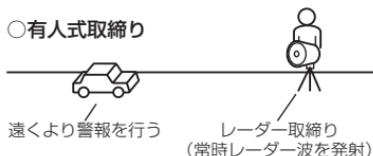
取締り対象の車が取締機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合などに測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



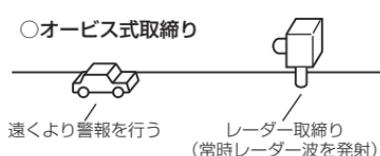
#### ● レーダー式取締方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

##### ○ 有人式取締り



##### ○ オービス式取締り



#### ● 新Hシステム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



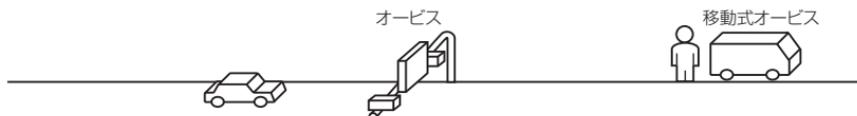
### ● 移動オービス式／パトカー車載式取締方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

### ● ダブルオービス式取締方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



## レーダー式以外の取締り

### ● ループコイル式取締方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯などに埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



### ● ループコイル式オービスシステム

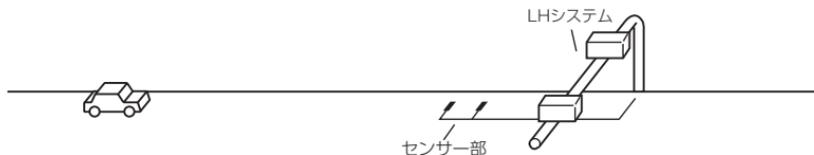
速度計測部はループコイル式と同様で、撮影ユニットをデジタル化し、通信機能を搭載した取締機です。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



# 付 録

## ● LHシステム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締機です。本製品では位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



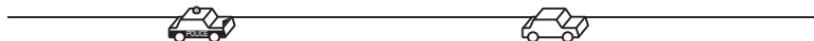
## ● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



## ● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイなどが、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

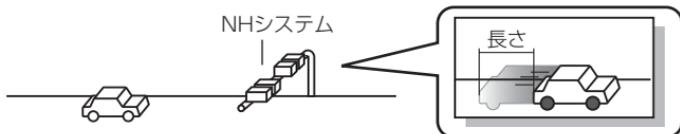


## 👉 アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法はレーダー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒P85）であればGPS警報を行います）

## ● NHシステム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



**● 小型オービス式取締方法（オービス式取締り）**

生活道路やゾーン 30 に指定された場所など、従来設置できなかったような狭い場所へも設置を可能にした取締機です。取締機が 3 種類あり、本製品では種類に応じた警報を行います。

**■ 固定式小型オービス**

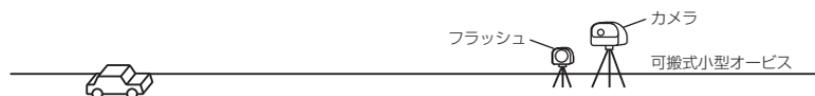
支柱を地中に埋め込むタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、オービス警報として警報を行います。

**■ 半可搬式小型オービス**

車両で運搬できるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、取締ポイント警報として警報を行います。

**■ 可搬式小型オービス**

一人で持ち運びできるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、取締ポイント警報として警報を行います。

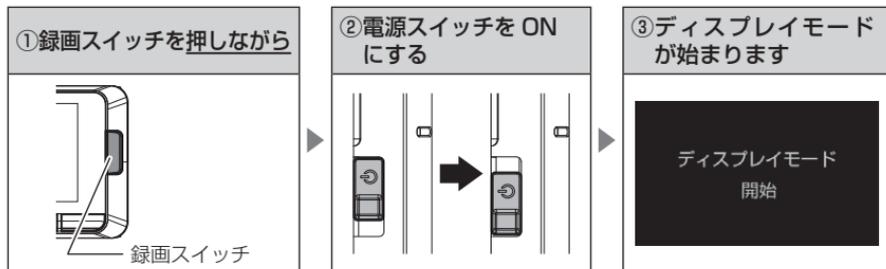


## ディスプレイモード（販売店向け機能）

本体の一連の動きをデモンストレーションします。  
本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

### 設定方法

電源スイッチが OFF の状態で、【録画】スイッチを押しながら電源を ON にしてください。



- ディスプレイモードを終了する場合は、再度同じ操作を行なってください。

## レーダースキャン画面の表示アイコンについて

本製品に登録されているオービスや取締ポイントの位置をメイン表示では下記アイコン、ミニメーター表示ではアイコン色で表示します。

### 赤色アイコン

- |    |                       |    |                     |    |           |
|----|-----------------------|----|---------------------|----|-----------|
| R  | レーダー式オービス             | H  | H システム              | LH | LH システム   |
| LC | ループコイル式オービス           | LS | ループコイル式<br>オービスシステム | S  | 移動式小型オービス |
|    | 最重点取締ポイント<br>重点取締ポイント |    | 信号無視取締機             |    | 過積載取締機    |
|    | 白バイ警戒エリア              |    |                     |    |           |

### 黄色アイコン

- |  |                  |   |          |  |          |
|--|------------------|---|----------|--|----------|
|  | スピード取締ポイント       |   | 検問取締ポイント |  | 交通取締ポイント |
|  | その他取締ポイント        |   | 警察署エリア   |  | 交番エリア    |
|  | 高速道路<br>交通警察隊エリア | N | N システム   |  | 事故多発ポイント |

## LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起動中</li> <li>・設定モード中</li> <li>・再生モード中</li> <li>・本体温度が高温または低温による動作停止中</li> </ul>
橙点滅	録画停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エラー表示中</li> <li>・緊急録画停止中</li> </ul>
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ソフトウェアのアップデート中

## エラー確認表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
microSD カードが挿入されていません	電源を OFF にし、microSDHC カードを挿入し、再度起動してください。
microSD カードを確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSDHC カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
高温注意 本体温度が高温の為 録画・再生機能を停止します	本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
低温注意 本体温度が低温の為 録画・再生機能を停止します	
イベント録画停止 録画領域がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント録画] または [ALL] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るエラーです。
録画停止 録画領域がいっぱいです	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、SD カードの初期化を行い録画データを消去してください。

※ エラーの際は上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

## よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らずLEDランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源スイッチは ON になっていますか？</li> <li>● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？</li> <li>● 車両シガーソケットを分岐していませんか？</li> <li>● 接触不良や断線などしていませんか？</li> </ul>	24 ページ — 8 ページ —
GPS 衛星を受信しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？</li> <li>● 本体カメラ側に電波を遮断する物はありませんか？</li> </ul>	8 ページ 18 ページ
ディスプレイが真っ黒表示になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスプレイの動作温度範囲を超えていませんか？</li> <li>● 液晶表示設定を [OFF] または [30 秒] にしていませんか？</li> </ul>	10 ページ 73 ページ
速度表示が車両スピードメーターと異なる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車両スピードメーターは実際の速度よりも高く表示される傾向があります。</li> </ul>	—

## ドライブレコーダー機能について

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SD カードの初期化を行うことで映像を削除することができます。*選択して削除することはできません。</li> </ul>	109 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。</li> </ul>	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [録画サイズ]、[フレームレート]および[画質]の設定を変更することで記録時間を変更することができます。*上記設定を変更するとmicroSDHCカードが初期化されます。</li> </ul>	106,120 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。</li> <li>● 衝撃録画データおよびマニュアル録画データは上書き禁止設定を [ イベント録画 ] または [ ALL ] に設定しているとエラーが表示され、上書きされません。録画を再開するには上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。</li> </ul>	32 ページ 105 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約 2 ~ 3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。</li> </ul>	10 ページ

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？</li> <li>● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSDHC カードの初期化を行なってください。</li> </ul>	8 ページ 10 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない。	● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—

## レーダー探知機機能について

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量は正しく設定してありますか？</li> <li>● 走行エリアの設定は正しく設定してありますか？</li> <li>● LSC 機能が作動していませんか？</li> </ul>	25 ページ 64 ページ 80 ページ
GPS 警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GPS は受信していますか？</li> <li>● 反対（対向）車線上のオービスではありませんか？</li> <li>● オービス・N システム以外のカメラではありませんか？</li> <li>● 各 GPS 警報の設定は OFF になっていませんか？</li> <li>● 新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？</li> <li>● 誤って警報キャンセルを設定していませんか？</li> <li>● 走行エリアの設定は正しく設定してありますか？</li> </ul>	18 ページ 48 ページ 92 ページ 70 ページ 60 ページ 58 ページ 64 ページ
レーダー警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レーダー式以外の取締りではありませんか？</li> <li>● 誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？</li> <li>● レーダー受信感度は適正ですか？</li> </ul>	113,114 ページ 56 ページ 79 ページ
無線警報しない	● 各無線の設定は ON になっていますか？	71 ページ
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GPS は受信していますか？</li> <li>● 各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？</li> </ul>	18 ページ 54,56,59 ページ
レーダーおまかせ設定が勝手に変更される	● セーフモードを【ALL ON】に設定している場合、セーフティーウィーク期間中は自動的にオールオンモードになります。	83 ページ

# 付 録

## 記録時間の目安

### microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。

※ 対応 microSDHC カード：4GB～32GB (class10 以上推奨)

※ 本製品付属 microSDHC カード：16GB (class10)

[おまかせ録画設定]、[録画サイズ設定]、[フレームレート設定]、[画質設定]、[イベント録画領域設定] を変更した際は、microSDHC カードの内容をすべて初期化します。必要なデータがある場合は必ず PC へ保存してください。

録画サイズ	フレームレート	画質	microSDHC カード容量		
			8GB	16GB	32GB
Full HD	29.1fps	高画質	約 85 分	約 170 分	約 340 分
		低画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
	19.1fps	高画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
		低画質	約 115 分	約 230 分	約 460 分
	9.1fps	高画質	約 115 分	約 230 分	約 460 分
		低画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
HD	29.1fps	高画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
		低画質	約 115 分	約 230 分	約 460 分
	19.1fps	高画質	約 115 分	約 230 分	約 460 分
		低画質	約 140 分	約 280 分	約 560 分
	9.1fps	高画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
		低画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
SD	29.1fps	高画質	約 115 分	約 230 分	約 460 分
		低画質	約 140 分	約 280 分	約 560 分
	19.1fps	高画質	約 140 分	約 280 分	約 560 分
		低画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
	9.1fps	高画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
		低画質	約 235 分	約 470 分	約 940 分

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、フレームレートが【19.1fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

## 製品仕様

電源電圧	DC12V		
最大消費電流	500mA 以下		
動作温度範囲	-10℃～60℃		
液晶サイズ/液晶解像度	3.2 インチフルカラー TFT 液晶/400 × 240		
カメラ	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	
	総画素数	200 万画素	
	有効画素数	最大 200 万画素	
	レンズ画角	水平 115° 垂直 58° (対角 145°)	
	F 値	F2.0	
	レンズ材質	ガラス	
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080)		
	HD (1280 × 720)		
	SD (640 × 360)		
録画画質	FullHD	高画質 (平均 8Mbps)	低画質 (平均 6Mbps)
	HD	高画質 (平均 6Mbps)	低画質 (平均 4Mbps)
	SD	高画質 (平均 4Mbps)	低画質 (平均 3Mbps)
GPS	○		
G センサー	○ (0.1G ~ 1.0G : 0.1G 単位で設定可)		
記録方式	常時録画/イベント録画/マニュアル録画 (手動録画)		
録画ファイル構成	30 秒単位		
音声録音	ON/OFF 可能		
フレームレート	9.1fps/19.1fps/29.1fps		
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)		
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows 7/8.1/10 専用 (タブレット PC 除く)		
	本体液晶		
記録媒体	microSDHC カード (付属 : 16GB/class10) ※ 4GB ~ 32GB 対応 class10 推奨		
本体サイズ	112 (W) × 65 (H) × 25 (D) /mm (突起部除く)		
重量	139g (取付ステー除く)		

## レーダー受信部仕様

受信方式	パラレル 33ch ダブルスーパーヘテロダイン
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
受信周波数	GPS 受信部 (1575.42MHz、1598.0625 ~ 1605.375MHz 帯) / Xバンド (10.525GHz) / Kバンド (24.200GHz) / 取締用連絡無線 (350.1MHz 帯) / カー・ローター・システム (407MHz 帯) / デジタル無線 (159 ~ 160MHz 帯) / 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯) / ワイド無線 (336 ~ 338MHz 帯) / 警察ヘリテレ無線 (340 ~ 372MHz 帯) / 消防ヘリテレ無線 (382 ~ 383MHz 帯) / 取締特小無線 (422MHz 帯) / レッカー無線 (154MHz 帯、465 ~ 468MHz 帯) / 新救急無線 (371MHz 帯) / 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯) / 高速管理車両無線 (383MHz 帯) / 警察活動無線 (162MHz 帯) / 警備無線 (468MHz 帯) / タクシー無線 (458 ~ 459MHz 帯、467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

# さくいん

## 1/A

ASC 機能	79
GPS	9
G センサー	106
HDR	108
LSC 機能	80
microSDHC カードについて	10
WDR	108
ZR-01	7, 17

## あ

あいさつアナウンス	76
イベント録画	33
イベント録画件数	105
イベント録画領域	105
オートポリリウムダウン	25
オールオンモード	62
おまかせモード	62

## か

かんたん再生機能	37
かんたんスイッチ	106
急発進	75
急ハンドル	75
急ブレーキ	75
記録時間	120
緊急録画停止機能	107
黒つぶれ	108
警報キャンセルポイント	58
小型オービス	115
誤警報キャンセルエリア	95

## さ

車両総重量設定	81
衝撃録画	33
常時録画	32
白とび	108
ステルス式取締	112
走行エリア	64

## た

タイムスタンプ	106
ダブルオービス式取締	113

## は

バスメモリ	59
パトロールエリア	101
ヒヤリハット地点	89
ビューワソフト	39
ファイルシステム	10
ファイル名	35
フォルダー名	35

## ま

マニュアルモード	62
マニュアル録画	33
ミュート	55
無線キャンセル	59
モード確認	64

## や

ユーザーポイント	54
ユーザーポイント警報	48

## ら

ラウンドアバウト	95
レーダーキャンセルポイント	56
ロードセレクト	64
録画領域	34